

仕様

このテレビを使用できるのは、日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

テレビ本体		W32-DH2000	W36-DH2000
形名		BSデジタルハイビジョンテレビ	
使用電源		AC100V 50/60Hz共用	
消費電力		226W	228W
		本体電源「切」時 約0.05W、リモコンで電源「切」時 約0.2W BSロック「オン」設定時 約30W	
年間消費電力量		257kWh/年	260kWh/年
受信チャンネル		VHF ch1~12/UHF ch13~62/CATV c13~c38/BSデジタル 000~999	
音声実用最大出力		14W(左:7W+右:7W)EIAJ	
スピーカー		左・右:12cm×8cm だ円型2コ、3.5cm 丸型2コ	
ブラウン管		32形、アスペクト比16:9	36形、アスペクト比16:9
画面寸法		幅66.2×高さ37.3/対角76.0(cm)	幅75.0×高さ42.2/対角86.0(cm)
接続端子	NTSC関連	●ビデオ入力1~3 [S2映像:輝度・色信号分離(75Ω) 映像:1V [p-p](75Ω) 音声:左・右 0.5V [rms]] ●モニター出力 [S2映像:輝度・色信号分離(75Ω) 映像:1V [p-p](75Ω) 音声:左・右 0.5V [rms]] (お知らせ) ●モニター出力のS2映像……「フル映像」出力のときはDC約5Vを重畳、 「ワイドクリアビジョン映像」出力のときはDC約2Vを重畳	
	コンポーネント(色差)ビデオ関連	D3映像(Y:1V [p-p](75Ω)、Pb/Cb:0.7V [p-p](75Ω)、Pr/Cr:0.7V [p-p](75Ω)) 音声:左・右 0.5V [rms] ※入力(525i [480i]、525p [480p]、1125i [1080i]) 自動切換式	
	BS関連	●BS-IF入力(75Ω) 兼BSアンテナ用電源(DC15V) 出力	
	その他	●光デジタル音声出力端子:-18dBm 660nm EIAJ CP-1201準拠 ●モジュラー端子(電話回線):2400bps、MNP4(着呼機能なし) ●i.LINK端子 S200:IEEE1394準拠 ●ビデオコントローラー端子:ビデオコントローラー用 ●ヘッドホン/イヤホン(16~32Ω推奨) 2系統	
外形寸法		幅77.7×高さ57.6×奥行53.9(cm)	幅87.4×高さ63.7×奥行59.0(cm)
質量		58.8kg	80.0kg
キャビネット材質		スチロール樹脂	

- 本機の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 年間消費電力量:省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
- テレビの形(32/36形)は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外形対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- 本製品は「高調波ガイドライン適合品」です。

付属品 設置、接続の前にまず付属品を確かめてください。()は個数です。

リモコン(1)	単3形乾電池(2)	アンテナプラグ(1)	ビデオコントローラー(1) (両面テープ付属)
B-CASカード(1)	モジュラーケーブル(10m)(1)	モジュラー分配器(2分配用)(1)	

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	ID番号	カードID (B-CASカード番号)
	A編:7ページに記載の「インフォメーション」画面の「B-CASカード」、「ID表示」で確認できる「カードID」と「デコーダーID」の番号を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。	デコーダーID

株式会社 日立情報テック 株式会社 日立製作所
〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111

S1000-0A

HITACHI BSデジタルハイビジョンテレビ 取扱説明書(テレビの使い方)

HITACHI

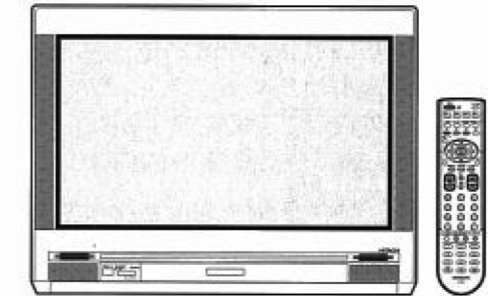
日立BSデジタルハイビジョンテレビ

形名

W32-DH2000

取扱説明書

W36-DH2000

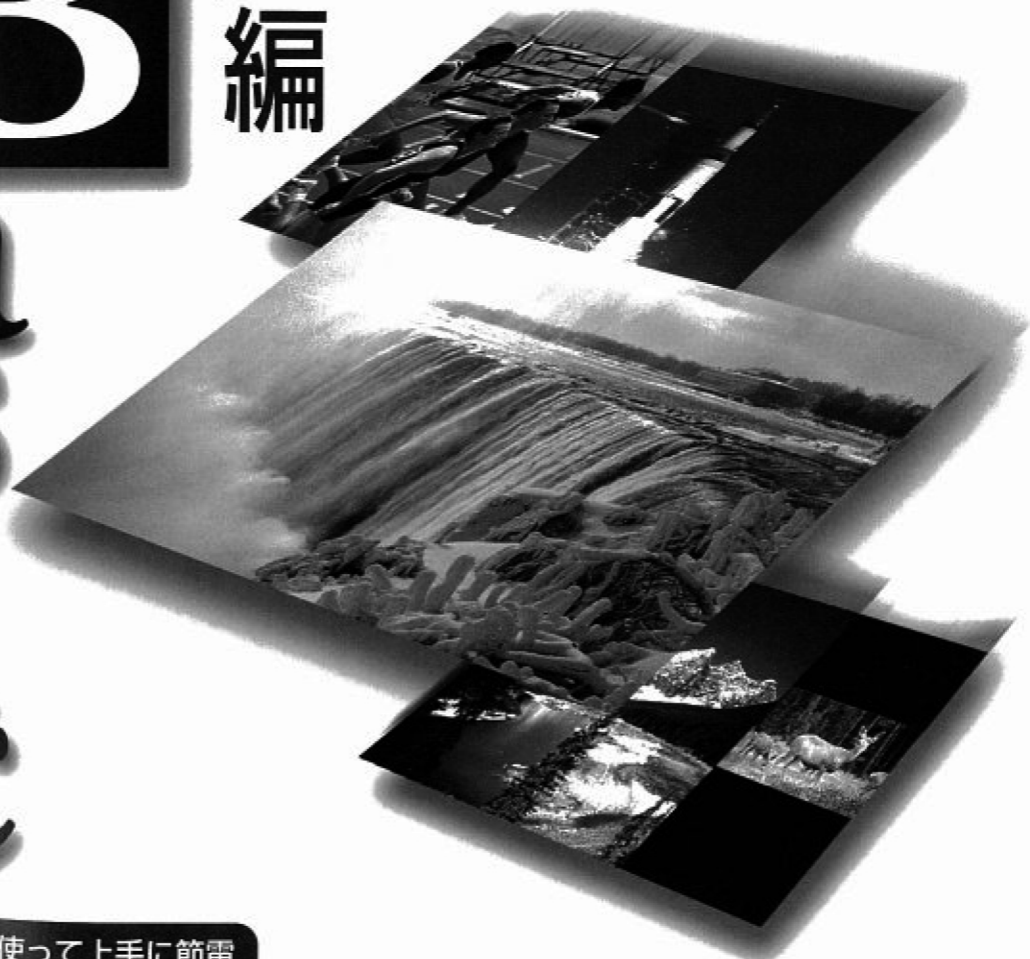


B

テレビの使い方 ふだんテレビをご覧になるときの説明です

編

basic



上手に使って上手に節電

保証書別添付

- 取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 製造番号は、安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

安全上の
ご注意

本機の
楽しみかた

各部の
なまえ
とはたらき

テレビを
見よう

便利機能
を使おう

多機能画面
を楽しもう

拡大画面の
使い方

見やすい
映像にしよう

聞きやすい
音にしよう

テレビを上手
に使うために

もくじ

- このたびは、日立 BSデジタルハイビジョンテレビをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この説明書と別冊の「設置／接続と設定」、「BSデジタルの応用／機器操作」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ご使用のまえに、4～7ページの安全上のご注意を必ずお読みください。
- 説明書は、目的の内容がすぐに見つかるよう、分冊にしています。各説明書の主な内容は、表紙に書いてあります。

お知らせ

ビデオなどの外部機器のリモコンにあるテレビ操作ボタンを使い本機の操作を行う場合は、リモコンのコード変更が必要です。テレビ電源ボタンを押して本機の電源が「入／切」できるテレビコードを設定してください。

当社製ビデオをお使いの場合は、テレビコードを「13」に設定してください。(ビデオの製造年度、形名によりコードが異なる場合があります。) リモコンのコード変更方法については、外部機器の取扱説明書をご覧ください。

安全上のご注意

4 ページ～

本機の楽しみかた

8 ページ～

各部のなまえとはたらき

10 ページ～

- リモコン各部のはたらき ……………10
- リモコンのメニューボタンについて ……12
- 本体操作部・前面端子部について ……14
- 本体背面端子部について ……………16

テレビを見よう

18 ページ～

- 地上放送 (VHF/UHF) を楽しむ ……………18
- ゲーム機はゲームモードで楽しもう ……19
- ビデオなどの外部機器を楽しむ ……20
- D-VHSビデオデッキ (当社製) を楽しむ…21
- BSデジタル放送を楽しむ ……………22
- ビデオなどに録画するとき ……………24
- MD (ミニディスク) などに録音するとき…25

便利機能を使おう

26 ページ～

- 放送内容などを知りたいとき ……………26
- 一時的に音を消したいとき ……………26
- タイマーで自動的に電源を切る ……26
- テレビ放送終了時、自動的に電源を切る…27
- 長時間、操作をしなかったとき、自動的に電源を切る ……………27

多機能画面を楽しもう

28 ページ～

- 2画面で楽しむ ……………28
 - ・2画面にする
 - ・画面モードを選ぶ
 - ・画面を左右入換える
 - ・画面を静止する
 - ・右画面のチャンネルを変える ……29

拡大画面の使い方

30 ページ～

- 自動で拡大画面にする場合 ……………30
- 映像に合わせて拡大画面を選ぶ場合 ……31
- 画面の位置やサイズを調整する ……32
 - ・画面の幅を切換える ……………33
 - ・画面の縦サイズを変える ……………33
 - ・画面外にはみ出た映像を見る ……33

見やすい映像にしよう

34 ページ～

- 最適な画質を選ぼう (映像メニュー) ……34
- 映像メニューの内容を調整したいとき ……35
- 画質をプロ級に調整しよう (テクニカル調整)…36
- 特殊なビデオソフトを再生するとき (フレーム/ライン) …37
- コントラストのある自然な映像を楽しむ (ナチュラルイザ) …38
- 映像のざらつき感を少なくする (NR) ……38
- 明るさをひかえめにして楽しむ (消費電力) ……39
- ビデオなどの映像が不自然に見えるとき (3次元Y/C分離) ……………39

聞きやすい音にしよう

40 ページ～

- 最適な音質を選ぼう (音声メニュー) ……40
- 音声メニューの内容を調整したいとき ……41
- 音声多重放送を聞く ……………42
 - ・2か国語 (二重) 放送の副音声を聞くととき…42
 - ・ステレオ放送で雑音があるとき ……42
 - ・BSデジタル放送の音声信号を切換えるとき…43

テレビを上手に使うために

44 ページ～

- 故障かな!? ……………44
- アイコン一覧 ……………50
- メッセージ表示一覧 ……………52
- お手入れ／上手な使い方 ……………53
- How to Use ……………54
- 総合索引 ……………56
- 保証とアフターサービス ……………58



テレビの使い方 (B編)
BasicのBです

- ふつうのテレビとして使いたい
- 画質や音質を調整したい
- タイマーで電源を切りたい
- 2画面の機能を使いたい
- ワイド画面の使い方が知りたい
- 思い通りにならないとき／故障かな?と思うとき



設置／接続と設定 (C編)
ConnectionのCです

- はじめて本機を設置するとき
- 外部機器を接続したい
- 設置場所を変えたい
- 各種の設定を変更したい



BSデジタルの応用／機器操作 (A編)
ApplicationのAです

- 番組表を見たい
- 番組を予約したい
- 番組を検索したい
- 有料番組が見たい
- 視聴条件の設定について
- i.LINKについて
- D-VHSビデオデッキを使いたい

安全上のご注意
本機の楽しみかた
各部のなまえとはたらき
テレビを見よう
便利機能を使おう
多機能画面を楽しもう
拡大画面の使い方
見やすい映像にしよう
聞きやすい音にしよう
テレビを上手に使うために

安全上のご注意

必ずお守りください


お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。


■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


警告 この表示の欄は、「人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。


注意 この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、感電に気をつけていただきたい「感電注意」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

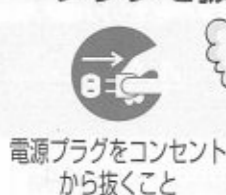
警告

異常が発生したときはすぐに使用をやめてください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

■故障(画面が映らない、音が出ないなど)や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く!

■内部に異物や水などが入ったり、テレビを落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く!



電源プラグをコンセントから抜くこと



電源プラグをコンセントから抜くこと

煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから、おやめください。



■上に水などの入った容器を置かないでください



水ぬれ禁止

水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器。)

●表紙および4ページ以降のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

警告

電源コードについて

■電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください



傷つけたり、加工したり、重いものをのせたり、加熱したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたりねじったり、引っぱったりすると芯線の露出、ショート、断線により火災・感電の原因となります。

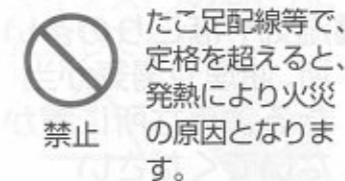
●電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

■電源プラグにほこりが付着しないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外では使用しないでください



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



ぬれ手禁止 感電の原因となります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■異物を入れないでください

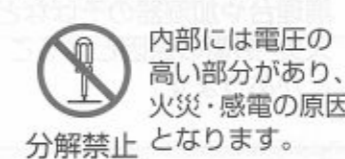


禁止

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

●特にお子様にはご注意ください。

■裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造しないでください



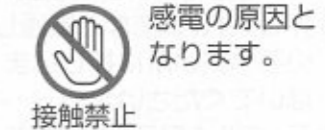
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

高圧注意
サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。
内部には高電圧部分が多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

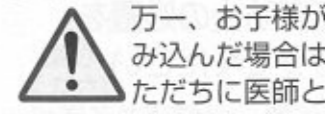
■雷が鳴りだしたらアンテナ線やテレビには触れないでください



感電の原因となります。

接触禁止

■デジタル音声出力(光)端子のカバーは幼児の手の届かないところへ保管してください



万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

●デジタル音声出力(光)端子に取り付けてあるカバーを取り外した場合は、お子様がカバーを誤って飲むことがないようにしてください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

■不安定な場所に置かないでください



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■風呂場、シャワー室では使用しないでください



水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

■水が入ったり、ぬらしたりしないでください



火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

●雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

注意

■テレビの通風孔をふさがないでください



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

- 壁から10cm以上の間隔をおいて据えつけてください。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

■転倒防止の処置を行ってください



地震やお子様によじ登ったりすると、転倒しけがの原因となることがあります。

- 転倒防止はC編:5ページを参照。

■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください



禁止

調理台や加湿器のそばなど火災・感電の原因となることがあります。

■電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください



コードを引っばったり、はさみやペンチで切ったりしないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■電源プラグをすぐに抜くことができるように据え付けてください



異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

■キャスター(車)付テレビ台に設置する場合は、キャスター(車)止めをしてください



動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

注意

■上に重い物を置かないでください



禁止

倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

■移動させる場合は、接続線ははずしてください



コードやテレビが損傷し、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグやアンテナ線、電話線、機器間の接続線や転倒防止具をはずしたことを確認のうえ、行ってください。
- 開梱や持ち運びは2人以上で行ってください。
- テレビに衝撃を与えないでください。

■テレビに乗らないでください



禁止

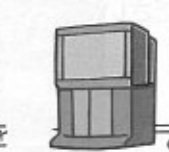
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
●特に、小さなお子様にはご注意ください。

■電池を入れるときには、極性表示(プラス $+$ とマイナス $-$ の向き)に注意してください



機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

■新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください



禁止

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

お手入れについて

■1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

■お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグをコンセントから抜くこと
感電の原因となることがあります。

アンテナについて

■アンテナ工事には、技術と経験が必要です



販売店にご相談ください。

- 送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
- BS、CS放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいのでしっかり取り付けてください。

ふつうのテレビとして楽しむ

操作方法是この冊子をご覧ください



- 今までお使い慣れたテレビと同様の操作で、地上波放送をご覧になれます。
- BSデジタル放送をふつうにご覧になりたいときも、今までのテレビに近い感覚でご覧になれます。
- 目的に応じた2画面機能でご覧になれます。

<視聴可能な2画面の組み合わせ一覧表>

		右画面			
		地上放送	ビデオ入力 (1~3)	色差入力 (1,2)	BSデジタル又はD-VHS
左画面	地上放送	○ _{#1}	○	×	○
	ビデオ入力 (1~3)	○	○ _{#2}	×	○
	色差入力 (1,2)	○	○	×	○
	BSデジタル又はD-VHS	○	○	×	×

※1 右・左共、同じチャンネルは見られません。
 ※2 右・左共、同じビデオ入力は見られません。

- 一般的な画質調整機能に加え、さらに細かな調整が可能です。
- 豊富な音声調整機能により、音楽好きな方からちょっと聞きづらいと思われるお年寄りの方まで、最適な調整が可能です。
- むだな明るさをおさえることで消費電力をひかえめにする機能 (C編39ページ) や、「オフタイマー」、「無操作自動オフ」、「無信号自動オフ」などの省エネに役立つ設定ができます。

最新のデジタル端子対応機器を接続して楽しむ

接続方法はこの冊子をご覧ください

※接続機器の取扱説明書もご覧ください



■ D端子を装備

本機は、D3映像入力端子を装備しています。コンポーネントビデオ出力端子付きの機器を接続すると、高画質な映像をお楽しみいただけます。

D端子の種類と対応できる映像信号

信号端子	525i (480i)	525p (480p)	1125i (1080i)
D1	○	×	×
D2	○	○	×
D3	○	○	○

■ i.LINK端子を装備

i.LINK対応の当社製D-VHSデジタルハイビジョンビデオデッキを接続すると、D-VHSビデオデッキへの録画予約が簡単に行えます。また、本機のリモコンで基本的な操作が行えます。


■ AAC5.1ch出力可能な光デジタル音声出力端子を装備

光デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器と接続して、高品位の音声がお楽しみいただけます。また本機はBSデジタル放送の音声 (AACフォーマット) をそのまま出力できるため、AACデコーダー内蔵アンプと接続するとサラウンド・ステレオ放送の番組では、臨場感のある音声をお楽しみいただけます。

BSデジタル放送に関連する色々な機能を楽しむ

操作方法是この冊子をご覧ください



各選択画面 (番組ナビや番組表など) では、 ボタンで項目を選び、決定ボタンを押すことにより、ご希望の画面に切り替わります。

■ BSデジタルハイビジョン放送に対応

本機は、BSデジタルハイビジョン放送に対応しています。また、BSデジタル放送で放送されるBSテレビ放送や、BSデータ放送、BSラジオ放送などのサービスにも対応しています。

■ EPG (電子番組ガイド) 機能

BSデジタル放送の番組表を新聞のテレビ欄のように最大8日間まで表示できます。また、チャンネル一覧やジャンル別に表示できる機能もあり簡単に選局できます。

■ 視聴制限設定機能

視聴年齢制限付き番組に対する視聴可能年齢の設定とPPV (ペイ・パー・ビュー) などで一度に購入できる上限金額の設定ができます。

■ 字幕表示機能

字幕付きの番組を選局した場合は、字幕の表示ができます。

■ アイコン情報 (シンボルマークによる情報) 表示

番組の視聴制限や信号の種類、予約内容、メールの有無など各画面において有効なアイコンが表示されます。

■ Irシステム

付属のビデオコントローラーを使用すると、ビデオデッキなどへの録画予約が簡単にできます。Irシステムに対応できる機器についてはC編: 48ページをご覧ください。

■ ダウンロード機能

衛星から送られてくるダウンロードデータを本機に取り込む機能があります。

商標について

- i.LINKとi.LINKロゴ "i" は、ソニー株式会社の商標です。
- D-VHSは、日本ビクター株式会社の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

リモコン各部のはたらき

テレビ本体の電源が「入」で、
電源を「入」・「切」する

リモコン操作表示ランプ
リモコンボタンを押すと点滅します。
電池が消耗すると暗くなります。
(電池交換の目安に)



地上波放送のとき
(または、2画面で左画面が地上波放送のとき)

●2画面やメニュー表示などの状態から、地上波放送の1画面に戻ります。

BSデジタル放送のとき
(または、2画面で左画面がBSデジタル放送のとき)

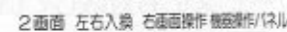
●2画面やメニュー表示、番組表などの状態から、BSデジタル放送の1画面に戻ります。

BSデジタル放送の
とき、各機能の操作用
BSデジタル放送のとき、
番組表を表示する

現在選局中または選択中のBSデジタル
放送の「番組内容」画面を表示

本機に接続した機器の操作や設定をする

2画面で見る



2画面を左右入れ換える

2画面の右画面操作のとき
(チャンネルや音量など)

i.LINK接続した当社製D-VHSデジタルハイビジョン
ビデオデッキ用の操作パネルを表示する

青色ボタン



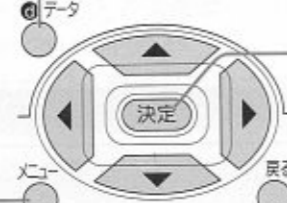
赤色ボタン

緑色ボタン

黄色ボタン

「番組表」画面などで番組表を表示させる日付の切
換えや、BSデータ放送時、画面に各色ボタンが使用で
きる表示があるときなどに使用できます。

メニュー画面を
出す



BSテレビ放送やBSラジオ放送に付加して放送される
データ放送画面を表示する

各種選択や調整項目を決定する

各種の選択や調整・設定などで、1つ前の
画面に戻りたいとき

画面で確認しながら、各種の選択や調整・設定に使う



受信チャンネルや番組の情報、
各種設定内容などを確かめる

2ヵ国語(二重)放送の
副音声を聞きたいとき

画面を静止する

ビデオなどを
見るとき

音量を調整する

チャンネルを
順々に選ぶ

音を消す

地上波放送のチャンネルを直接選ぶ

BSデジタル放送を
「番号入力選局」するとき

タイマーで自動的に
電源を切る

拡大画面の種類を選ぶ

BSデジタル放送で複数の映像がある番組や、マルチビュー放送の場合
に、他の映像に切替えることができます。

BSデジタル



BSデジタル放送の「プリセット選局」
や「番号入力選局」などの数字入力に
使用します。

「内線設定」や「郵便番号」設定で入力
した数字の最後の桁を1つずつ消すこ
とができます。

「内線設定」でポーズの指定をするとき
に使用します。

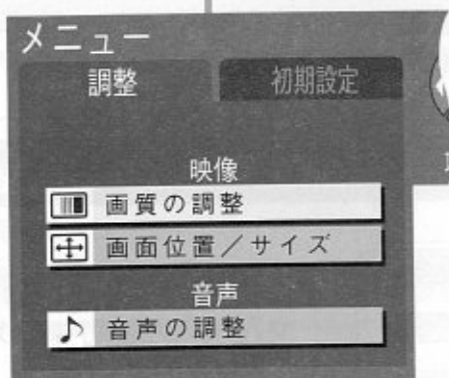
メニューボタンについて

本機の各種調整や設定機能は全てメニューボタンで操作できます。メニュー画面は「調整」メニュー、「初期設定」メニューの2枚構成です。

1



押すとメニュー画面が出ます。画面で確認しながら設定や調整ができます。



例「調整」メニューの場合

2

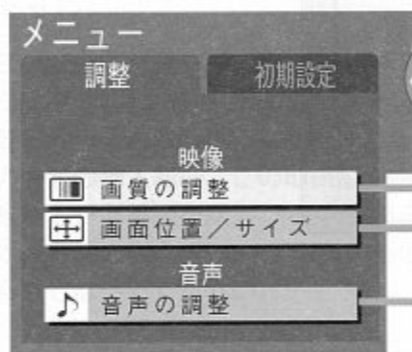


押して、設定したい「メニュー」(「調整」「初期設定」)を選ぶ



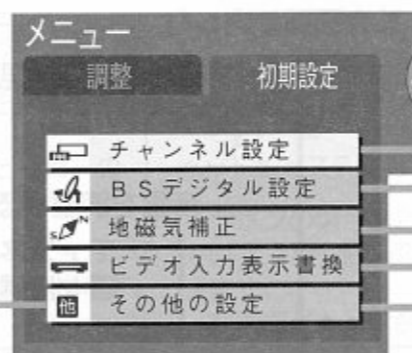
押して、設定したい項目を選び、

決定を押す



「調整」メニュー

- 映像、色の濃淡や明暗を調整するとき (C編: 34~36ページ)
- 画面位置や画面サイズを調整するとき (C編: 32, 33ページ)
- 音声やバランスなどを調整するとき (C編: 40, 41ページ)



「初期設定」メニュー

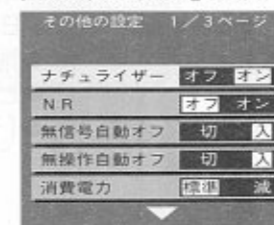
- 地上波放送のチャンネル設定をするとき (C編: 8~19ページ)
- BSデジタル放送の各設定や調整をするとき (C編: 28ページ)
- 地磁気の影響で映像が少し傾いたとき (C編: 21ページ)
- ビデオ入力の表示を書き換えるとき (C編: 26ページ)
- テレビの使用環境に関する各種設定をするとき

■「その他の設定」について



押して、「その他の設定」を選び、決定を押す

「その他の設定」画面

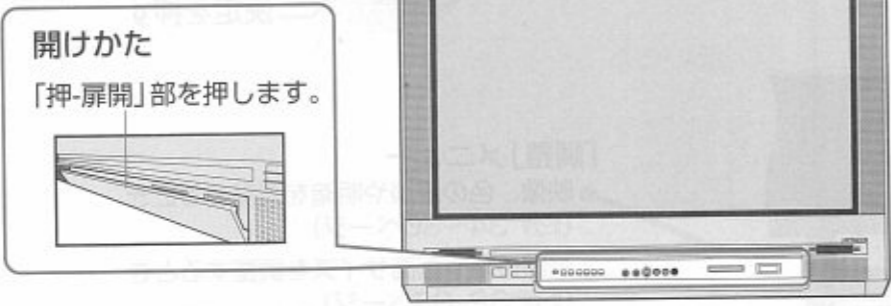


- 「その他の設定」画面は3ページ構成です。で項目を送ると自動的にページが変わります。

お知らせ メニュー画面等に表示されるリモコンボタン表示は、操作をわかりやすくするための表示であり、実際のリモコンとはボタン形状、配置等が異なる場合があります。

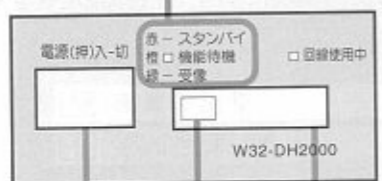
本体操作部・前面端子部について

前面扉の開けかた



操作部

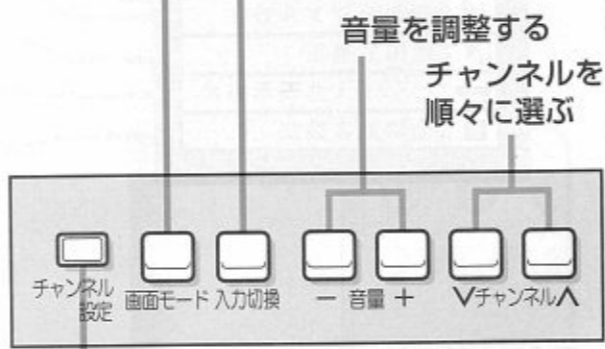
- 電源ランプについて
 - リモコンで電源を切る 赤色
 - BSロックを「オン」にしているとき (C編：24ページ) 赤色
 - i.LINK待機を「する」にしているとき (C編：57ページ) 赤色
 - リモコンで電源を入れる 緑色
- 回線使用中ランプについて
 - 電話回線に接続時 赤色



電源を「入」・「切」する
〔「入」でリモコンが操作できます。〕

リモコン受光部
明るさセンサー (受光部)
〔映像メニュー(オート)にしたとき、まわりの明るさに応じて見やすい映像に自動調整するための受光部〕

拡大画面で楽しむ (C編：31ページ)
接続した機器の映像を見る (C編：20ページ)



次の各設定ができます。

- 地上放送のチャンネル設定 (C編：8ページ)
- BSアンテナ電源設定 (C編：38ページ)
- 地磁気補正 (C編：21ページ)
- ビデオ入力表示書換 (C編：26ページ)
- 「その他の設定」メニューの各種設定

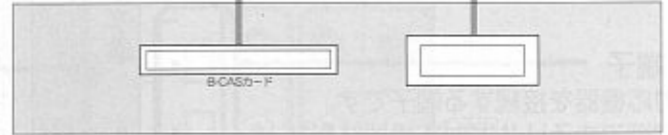
カード挿入部

B-CASカード挿入口
付属のB-CASカードを挿入します。

サービスマン用
※ 黒いフタは異物の挿入を防止するためのものです。外さずにそのままご使用ください。

ご注意

- B-CASカードを挿入前に必ず本体の電源ボタンを「切」にし、C編：46ページをよくお読みのうえお取り扱いください。
- カードの挿入前に、この取扱説明書の裏表紙にカード番号を記入してください。
- 本機専用のB-CASカード以外のものを挿入しないでください。



前面端子部

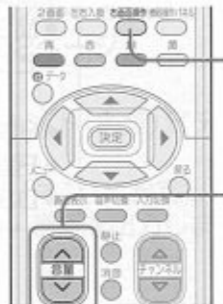


スピーカーの音が消えます。
スピーカーの音も出ます。

M3プラグ専用
ヘッドホン(ステレオ) イヤホン(モノラル)
イヤホンの場合は2カ国語(二重)放送で、「主+副」を選ぶと「主」音声がかかります。
(右画面/●●は合成された音声がかかります。)
※接続するヘッドホン/イヤホンにより音量・音質に差があります。

「右画面/●●」側の端子について

- 1画面のときは単独で音量調整ができます。
- 2画面のときは右画面の音声になり、単独で音量調整ができます。



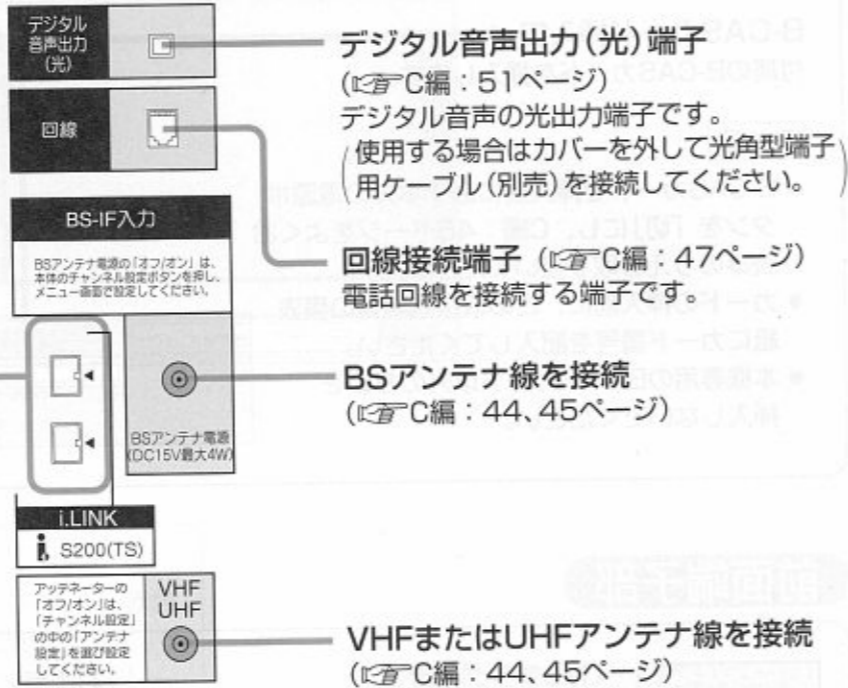
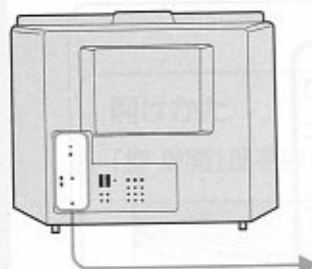
ビデオカメラやテレビゲーム機を接続 (ビデオ入力3)
(C編 19、20ページ)

お知らせ

- 電源を「切」・「入」しても音量は記憶します。

本体背面端子部について

背面端子部



接続端子の形状

- M3ジャック ……ヘッドホン/イヤホン、Irシステムの各端子
- ピンジャック ……モニター出力、ビデオ入力の各映像、音声端子とコンポーネント(色差)ビデオ入力の音声端子
- S映像 ……モニター出力、ビデオ入力のS2映像の端子
- F型接栓 ……BS-IF入力、VHF/UHF入力の各端子
- D3映像 ……コンポーネント(色差)ビデオ入力1・2の各端子

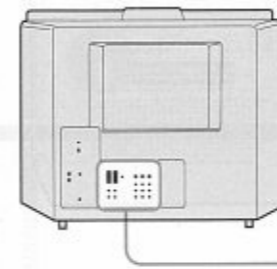
●コンポーネント(色差)ビデオ入力の接続について

色同士の干渉を避けるために、映像信号を輝度、赤系、青系の3つの信号(緑系は3つの信号から自動算出)に分け、それぞれの専用回路で信号処理後、画面に映すときに合成しますので、より自然に近い映像がお楽しみになれます。

お知らせ

コンポーネント(色差)ビデオ入力について

- 入力信号は、1125i(1080i)、525p(480p)、525i(480i)の各信号に対応しています。
- 525i(480i)信号は、機器によって、「Y、P_B、P_R」「Y、C_B、C_R」、「Y、B-Y、R-Y」と表示されています。

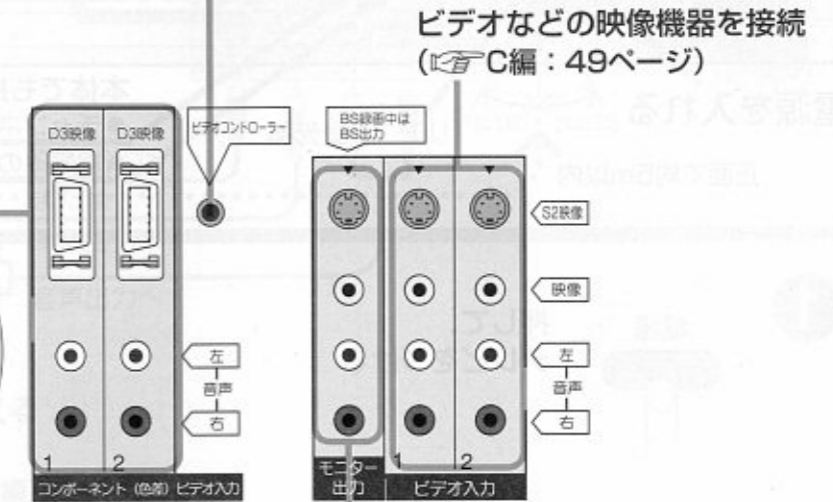


ビデオコントローラー端子

付属のビデオコントローラーを接続するとビデオデッキに対し、録画するためのリモコン信号が出力できる端子です。使用できるビデオデッキメーカーについてはC編：48ページをご覧ください。

D3映像端子について

D1映像、D2映像、D3映像、のいずれかの出力端子のある映像機器を接続します。(D3映像端子は1125i(1080i)、525p(480p)、525i(480i)の各信号に対応しています。)



本機で受信できるテレビ放送と、ビデオ入力1~3に接続した各機器の映像と音声の信号を出力します。ただし、ビデオ入力1の信号を出力させるときは設定が必要です。(C編：22ページ)

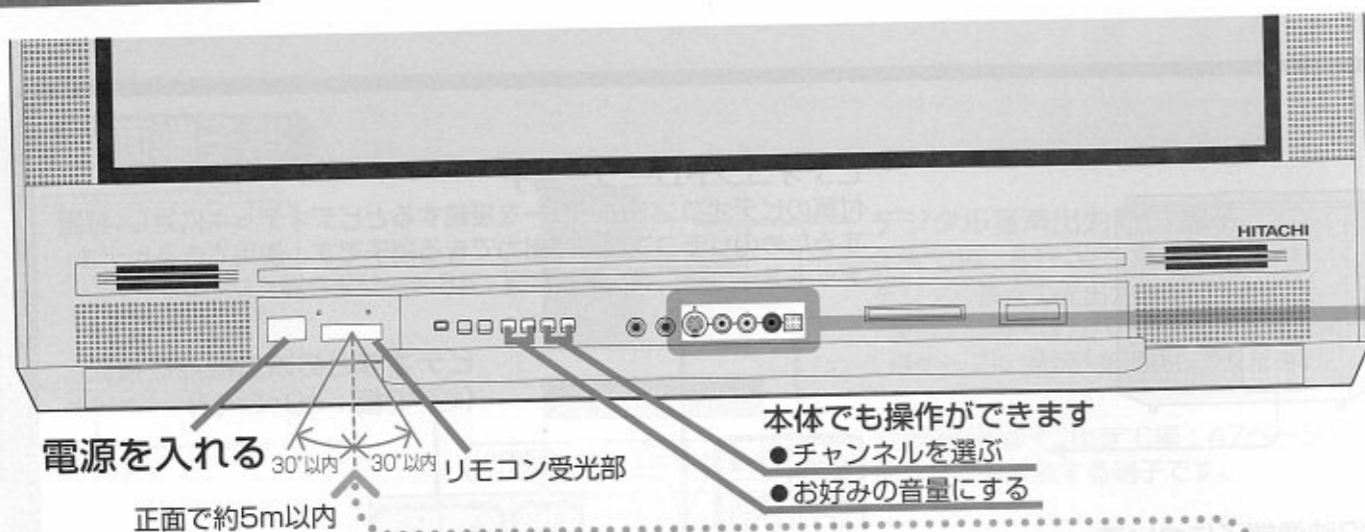
- コンポーネント(色差)ビデオ入力1~2の信号は出力しません。
- BSロック「オン」に設定したときは、そのBSチャンネルの映像・音声を出力します。

お知らせ

- S2映像端子の機能について
S映像、S1映像にも対応します。(音声コードは同時に接続してください。)
S映像 …… 良い画質を得るため映像信号を輝度信号と色信号に分離したもの。
S1映像 …… S映像の機能に加え、ワイドテレビ対応ビデオなどからの縦長映像は「フル」画面になります。
S2映像 …… S映像とS1映像機能に加え、ワイドクリアビジョン映像の場合は「ワイド」画面になります。
- モニター出力の「S2映像」端子の出力信号について
ビデオ入力1~3の「S2映像」に入力した信号を出力します。
ただし、ビデオ入力1の信号を出力させるときは設定が必要です。(C編：22ページ)
- 接続端子の優先について
「S2映像」と「映像」端子は「S2映像」が優先します。(同時接続時)
- ID-1検出機能について
ビデオ入力1~3の「映像」端子やS2映像端子、およびコンポーネント(色差)ビデオ入力(525i又は525p信号)にID-1対応機器を接続したとき、ID-1検出が働くと、縦長映像は「フル」画面に、横長映像は「ワイド」画面になります。

地上放送(VHF/UHF)を楽しむ

ゲーム機はゲームモードで楽しもう



- 1 電源 押して、テレビをつける
- 2 見たいチャンネルを選ぶ
- 3 押して、お好みの音量にする

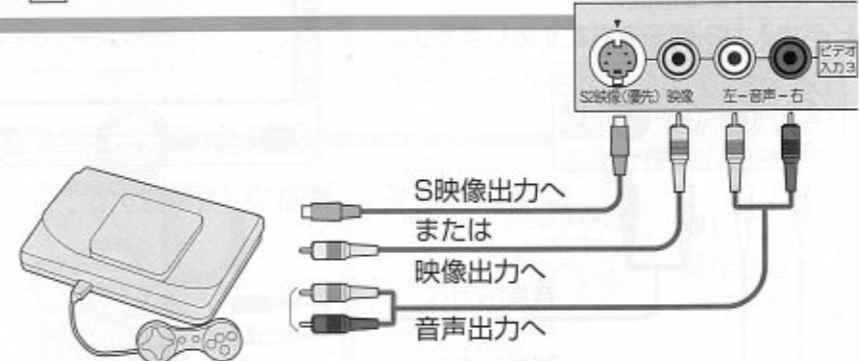


- お知らせ**
- 電源を切っても…
チャンネルや音量などは記憶されます。
 - 音量を下げると…
消費電力や音のひずみが少なくなります。

まず、お確かめください

- 1 ゲーム機を接続する

例 テレビゲームを前面の「ビデオ入力3」端子で使う場合



- 2 ビデオ入力の表示を書換える

この冊子(C編)の26ページの手順で設定してください。

C編

ゲーム機を楽しむ

- 1 入力切換 押して、「ゲーム」にする

●経過時間を表示します。
30分ごとに約5秒間、画面表示します。
適度な休憩の目安にしてください。
ゲーム 30 → ゲーム 60 → ゲーム 90
90分を越えると、表示しません。

テレビ画面
- 2 ゲーム機を操作する

■ゲームを終了するときは
入力切換やチャンネルを切換えるとゲームモードが終了します。

- お知らせ**
- ゲームモードは電源を「切」「入」しても記憶します。
 - ゲーム画面にすると…
映像は「映像メニュー(ゲーム)」に、音声も「音声メニュー(ゲーム)」になります。
 - 映像や音声を変えられます。
お好みの状態に変えたいときは35、41ページを参照してください。

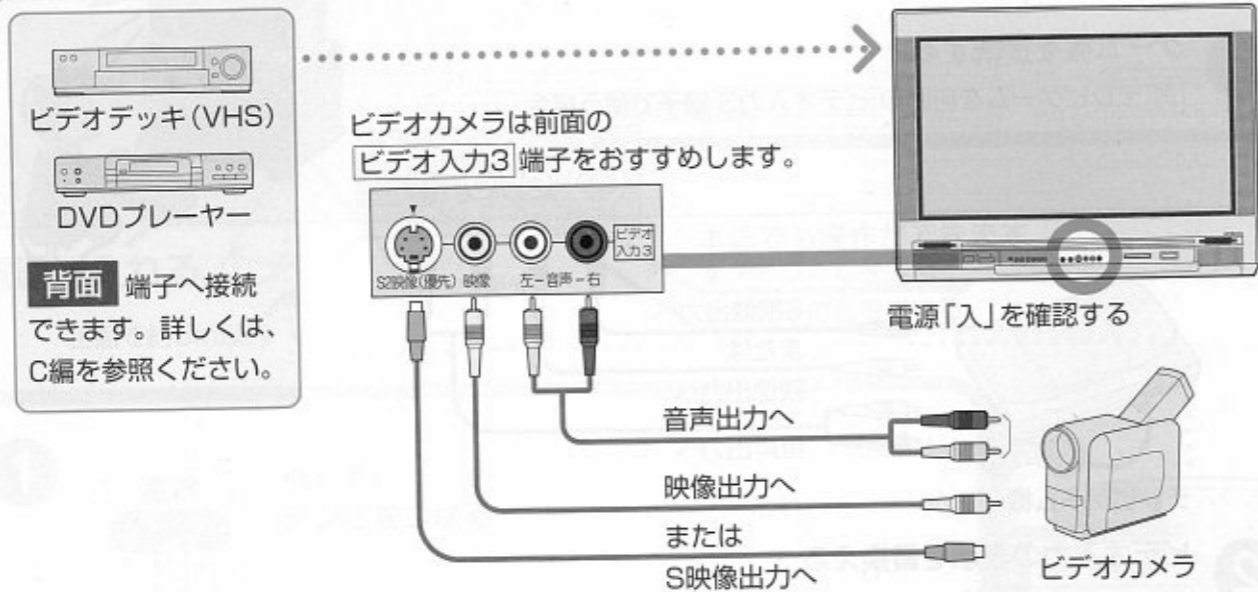
参考(工場出荷時の状態)

項目	内容
映像メニュー	ゲーム
サラウンド	ワイド
画面モード	フル

テレビを見よう

ビデオなどの外部機器を楽しむ

まず、接続を確認する

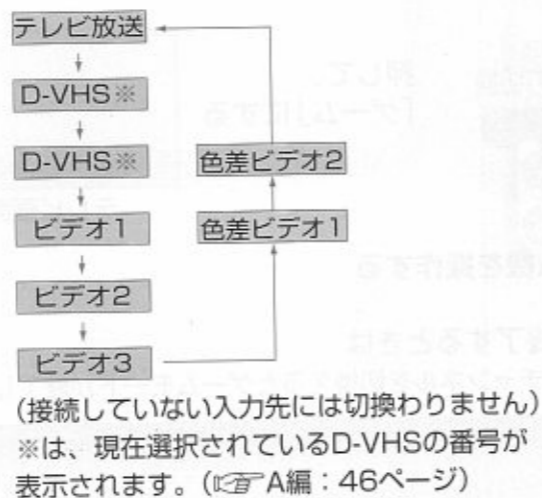


1 電源
テレビをつける

2 入力切換
押すごとに
切り替わります。

メモ
リモコンが使えないとき、
本体の ボタンでも切
換わります。

3 接続機器を
操作します。



D-VHSビデオデッキを楽しむ

通常の操作 (C編20ページ) 以外に、画面上にD-VHSビデオデッキ用の操作パネルを表示し、
本機のリモコンで基本的な操作ができます。(当社製D-VHSデジタルハイビジョンビデオデッキのみ)

ビデオデッキ (D-VHS)
背面 端子へ接続
できます。詳しくは、
C編を参照ください。



1 電源
押して、
テレビをつける

2 20ページの操作で、再生したい
D-VHSの入力に切替える

3 機器操作パネル
押して、
操作画面を表示する



■機器操作パネルを消したいときは
機器操作パネル
ボタンを押す

機器操作パネルのさらに詳しい説明は



この冊子 (A編) の
44ページを
ご覧ください。

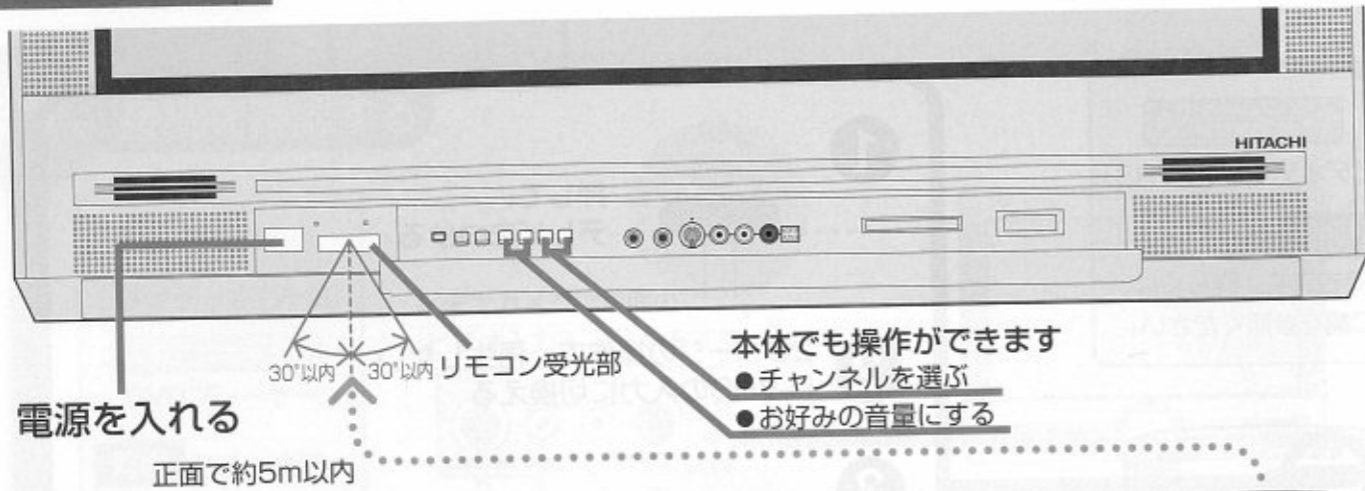
お知らせ

- D-VHSビデオデッキを、機器操作パネルで操作する
場合、i.LINK端子への接続と (C編：50ページ)、
i.LINK接続設定 (A編：46ページ) が必要です。

お知らせ

- S映像をS2端子に入力した場合は、「S-ビデオ」の表示をします。
- 接続に合わせてビデオ入力やコンポーネント (色差) ビデオ入力の
表示を書換えることができます。(C編：26ページ)

BSデジタル放送を楽しむ



本体でも操作ができます
●チャンネルを選ぶ
●好みの音量にする

プリセット選局

本機では、あらかじめ①～⑩ボタンにチャンネルを設定(プリセット)しています。直接①～⑩ボタンを押すと、設定されているチャンネルを簡単に選局できます。

例 ① に設定されているNHK (BS1) を選局する場合

1 電源
押して、
テレビをつける

2 ①
押す
選んだ番組によって、
以降の操作が異なります。
●有料番組を選んだとき (C編: 18ページ)
●視聴制限の対象になる番組を選んだとき
(C編: 31ページ参照)

3 音量
押して、
好みの音量にする



工場出荷時のプリセット設定

① (101チャンネル)	NHK1 (NHK BS1)	⑥ (161チャンネル)	BS-i
② (102チャンネル)	NHK2 (NHK BS2)	⑦ (171チャンネル)	BSJ (BSジャパン)
③ (103チャンネル)	NHKh (NHK ハイビジョン)	⑧ (181チャンネル)	BSフジ
④ (141チャンネル)	BS日テレ	⑨ (191チャンネル)	WOW (WOWOW)
⑤ (151チャンネル)	BS朝日	⑩ (200チャンネル)	スター(スター・チャンネル)

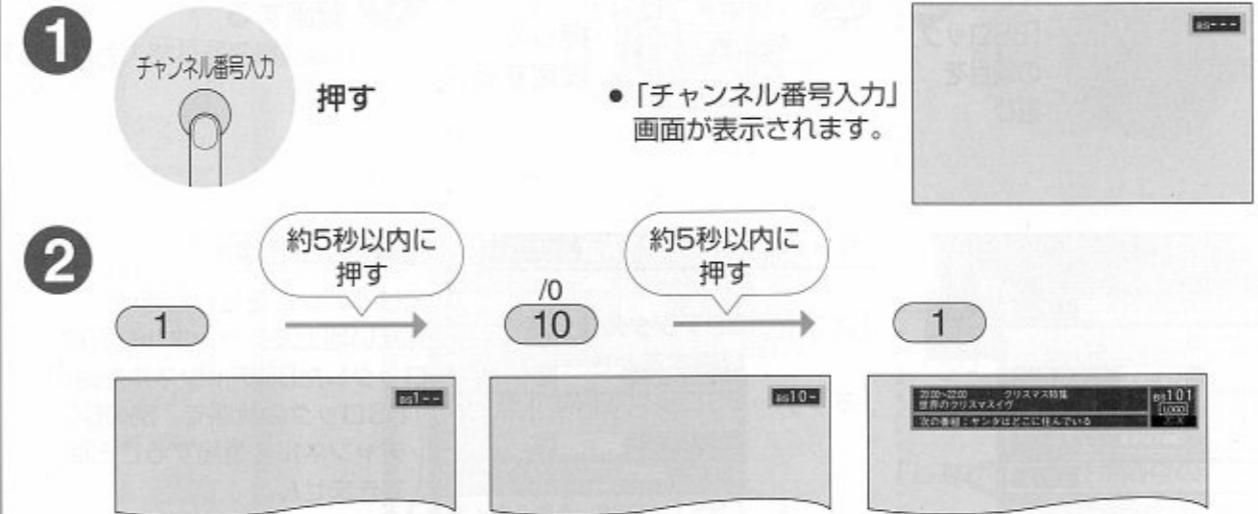
※放送局名は実際の表示と異なる場合があります。

お知らせ
●プリセットされているチャンネルは変更ができます。(C編: 36ページ参照)

番号で直接選ぶ(番号入力選局)

選局したいチャンネル番号があらかじめわかっている場合、3桁のチャンネル番号を入力して選局できます。

例 チャンネル番号101を選局する場合



選んだチャンネルで現在放送中の番組によって、以降の操作が異なります。
●有料番組を選んだとき (C編: 18ページ)
●視聴制限の対象になる番組を選んだとき (C編: 31ページ)

3 音量
押して、
好みの音量にする

順送りして選ぶ(アップダウン選局)

リモコンのチャンネル△▽ボタンを押すとチャンネルを順送りに選局することができます。

選んだチャンネルで現在放送中の番組によって、以降の操作が異なります。
●有料番組を選んだとき (C編: 18ページ)
●視聴制限の対象になる番組を選んだとき (C編: 31ページ)

お知らせ

番号入力選局は…
●チャンネル番号を正しく入力しなかったときや約5秒以内につづきの番号を押さなかったときは、選局動作をしません。

アップダウン選局は…
●「BSデジタル設定」画面の選局対象の設定により順送りするチャンネルが異なります。なお、順送りするチャンネルがない場合は選局できません。選局対象の設定についてはA編: 36ページをご覧ください。

ビデオなどに録画するとき

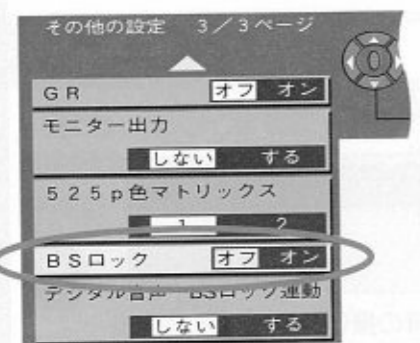
「BSロック」

録画中に本機のチャンネルを変えても、ご希望のBSデジタル放送が確実に録画できるようにBSチャンネルを「ロック」します。

まず、●22、23ページの操作で録画するBSチャンネルを選ぶ。
●12、13ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。



1 押して、「BSロック」の項目を選び



●「その他の設定」画面は3ページ構成です。



で項目を送ると自動的にページが変わります。



2 押して、設定する

BSロック オフ オン

「オン」…BSデジタル放送を録画するとき

「オフ」…BSロックを解除するとき



押して、表示を消す

■BSロックを解除したいときは

手順②の操作で「オフ」を選ぶと、BSロック解除の確認画面を表示します。画面に従いBSロックを解除してください。

3 録画機器を操作して、録画する
(録画機器を外部入力にする)

裏録のときは

続けてテレビを見るときは、見たい地上波チャンネル、又はロックしたBSチャンネルを選ぶ(BSロックの状態では、別のBSチャンネルを選局することはできません。)

留守録のときは

リモコンで、本機の電源を切る

MD (ミニディスク) などに録音するとき

「デジタル音声-BSロック連動」

デジタル音声出力(光)端子からの録音中に本機のチャンネルを変えても、ご希望のBSデジタル放送が確実に録音できるようにします。

まず、●12、13ページの操作で「その他の設定」画面を出し、次の操作で設定します。



1 押して、「デジタル音声-BSロック連動」の項目を選ぶ



●「その他の設定」画面は3ページ構成です。



で項目を送ると自動的にページが変わります。



2 押して、設定する

デジタル音声-BSロック連動
しない する

「する」…24ページでBSロックしたBSデジタル放送に連動した音声を出力
「しない」…現在選局中の音声を出力



押して、終了する



お知らせ

●デジタル音声出力の設定(光C編:56ページ)を「PCM」にしてご使用ください。

お知らせ

●BSロックは、開始終了時間情報のある番組で可能です。情報のない番組ではBSロックできません。また、ロックしたBSチャンネルは、その番組の放送が終了すると自動的に解除されます。

BS留守録するときの電源について

●本体の電源は切らない。(機能待機<橙>ランプは点灯したまま)

テレビを見よう

「画面表示」「消音」「オフタイマー」について

放送内容などを知りたいとき「画面表示」

画面表示

押すとチャンネル番号やオフタイマー残り時間、画面モードの状態などの表示をします。最後はチャンネル番号が残り、表示を消すときもこのボタンを押します。



画面モード
(**31**ページ)

チャンネル表示と放送内容

- モノラル放送のとき…緑色
- ステレオ放送のとき…黄色
- 2カ国語放送のとき…赤色

GRの「オン」「オフ」
(**C**編：17ページ)

音声切換
(**42**ページ)

消費電力の「標準」「減」(**39**ページ) オフタイマーセット残り時間
(**26**ページ)

■BSデジタル放送のときは

- 番組タイトル、開始時刻、終了時刻などが表示できます。
(**A**編：12ページ)

一時的に音を消したいとき「消音」

電話応対や来客などのときに便利です。



押すと画面に「消音」の文字が出て音が消えます。もう一度押すと解除されます。



- 電源の「切」「入」や、音量を変えても解除されます。

タイマーで自動的に電源を切る「オフタイマー」

オフタイマー

押すごとに設定時間(分)が選べます。



- 「0」表示にするとオフタイマーが解除されます。
- 電源が切れる3分前になると3、2、1と点滅表示の後、自動的に電源が切れます。
- オフタイマーの残り時間を知りたいときは **画面表示** ボタンを押します。

お知らせ

- オフタイマーをセット中に停電などで電源が切れると…停電が回復後オフタイマーは解除され、リモコンで電源を切った状態になります。

自動的に電源を切りたいとき

「無信号自動オフ」

- 「入」にすると、テレビ放送が終了して電波が来なくなったときなど、約10分後自動的に電源を「切」にします。

「無操作自動オフ」

- 「入」にすると最後の操作から約3時間以上、リモコンや本体操作部で操作をしなかったとき、自動的に電源を「切」にします。

まず、12、13ページの手順で「その他の設定」画面にする。



例「無操作自動オフ」の設定をする場合

1

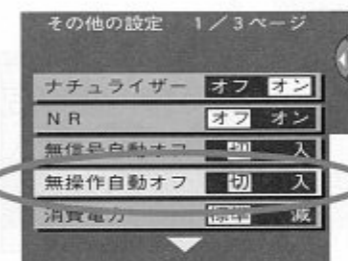


押して、「無操作自動オフ」を選び

2



押して、設定する



無操作自動オフ **切** **入**



押して、終了する

無操作自動オフ **切** **入**

- 「その他の設定」画面は3ページ構成です。



で項目を送ると自動的にページが変わります。

お知らせ

- 無操作自動オフが働いて電源が切れたときは、次回に電源を入れると「無操作自動オフが働きました」と約10秒間表示します。
- 無信号自動オフが働いて電源が切れたときは、次回に電源を入れると「無信号自動オフが働きました」と約10秒間表示します。
- ビデオ入力やコンポーネント(色差)ビデオ入力時も、映像がなくなると無信号自動オフが働きます。ただし、BSデジタル放送受信時や、ビデオなどがブルーバック画面のときは働きません。

2画面で楽しむ

2画面にすると右画面で他のチャンネルの検索をしたり、ビデオの録画状態をチェックしたりとても便利。

まず 2画面にする

2画面

押す

(前回選んでいた画面になります)



例 2画面ノーマルのとき

■ 1画面に戻るとき

2画面

を押す

2画面にしたあと

画面モードを選ぼう

画面モード

押すごとに切りかわる



2画面フル

2画面ノーマル

PoutP

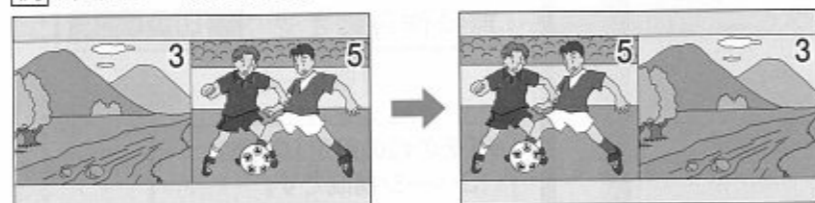
画面の左右を入換えるときは

「2画面フル」「2画面ノーマル」
「PoutP」のとき

左右入換

押すごとに
入換わる

例 2画面ノーマルのとき



画面を静止するとき

静止

1画面のとき
押す



■ 1画面に戻るとき

静止



お知らせ

- 2画面のとき、本機背面の「モニター出力」からは左画面が出力されます。
- 2画面が左右別々の回路で処理を行うため、音質や映像の鮮明さに若干の差があります。
- 電源を「切」「入」すると、2画面は取り消されます。

メモ 画面のなまえ



2画面フル

2画面ノーマル

PoutP

「2画面フル」「2画面ノーマル」
「PoutP」のとき

右画面のチャンネルを変える

1

右画面操作

押す



例 2画面ノーマルの
とき

2

5

の表示が
ある間(約10秒間)に
チャンネル
ボタンを押す



例 5チャンネルに
する

ビデオなどを見るときは

入力切換

の表示が
ある間に
押して、
切換える



■ 左画面のチャンネルは
1画面のときと同様にチャンネルボタン
で直接選べます。

お知らせ

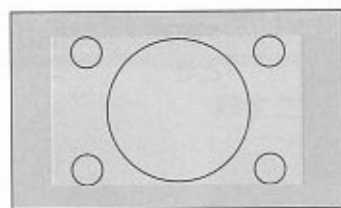
- 「2画面フル」、「2画面ノーマル」、「PoutP」の右画面の音声はイヤホンをご利用ください。
- 左右同じ映像は映せません。
- BSデジタル放送同士、D-VHS同士、またはBSデジタル放送とD-VHSを組み合わせるとの2画面は見られません。
- テレビゲームを2画面で見るときは、テレビゲームを右画面にしてください。(映像の乱れを防ぐため)

映像に合わせた拡大画面にする

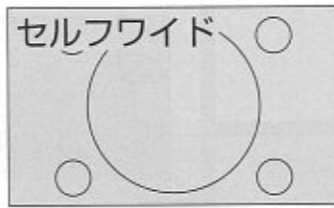
自動で拡大画面にする場合



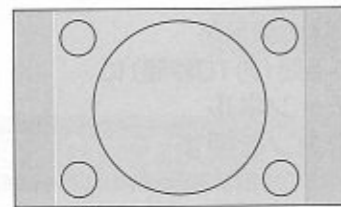
1回押すと「セルフワイド」になり自動的に拡大画面になります。
●本体のボタンでも操作できます。



横に長い映像のとき



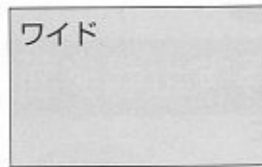
画面いっぱいに拡大。



普通の映像(4:3)のとき

C編:20ページで設定した「ジャスト」画面か、「ノーマル」画面に。

「ワイドクリアビジョン」の放送と映像ソフトも楽しめます。



ワイド

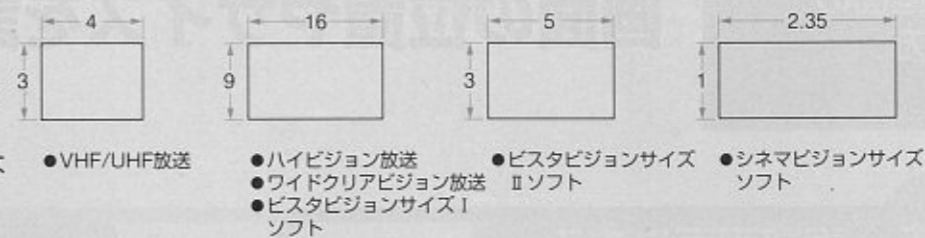
ED2信号を検出すると自動的に「ワイド」画面になります。(C編:25ページ)
現行のテレビ放送(横縦比4:3)と画面のワイド化(横縦比16:9)の両立性を確保しつつ、映像の高画質化を目的としたものです。本機は自動的に画面を拡大する回路を内蔵しています。

■「ワイドクリアビジョン」を受信中に一旦、画面モードを変えると「ワイド」にはなりません。(再度「ワイド」にするときは、画面モードボタンを1回押す。)



メモ

■映像の横縦比(アスペクト)放送や映像ソフトの映像比率(画面の横と縦の比)には、次のような種類があります。



映像に合わせて拡大画面を選ぶ場合



押すごとに画面モードが切り替わります。



●本体のボタンでも操作できます。

映像	画面モード	拡大画面
ノーマル	ノーマル に切換える	普通の映像(4:3)そのまま
横長	ジャスト に切換える	横に広がり、違和感の少ない映像に
字幕入り	ズーム1 に切換える	画面いっぱいに映像を拡大
縦長	ズーム2字 に切換える	下部が圧縮される
	フル に切換える	横に広がり、正常な映像に

お知らせ


- 画面モードは地上波放送、BSデジタル放送(またはD-VHS)、ビデオ1~3・色差ビデオ1~2・ゲームごとに記憶します。
- 525p(480p)信号のときは「フル」、「ズーム1」、「ズーム2字」の切換えになります。
- 1125i(1080i)信号のときは「フル」に固定されます。
- 接続端子「S2映像」からS1またはS2映像を入力するとS1映像は「フル」、S2映像は「ワイド」になります。
- ID-1検出をしたときも、画面サイズが切り替わります。(C編:24ページ)


お知らせ

- コマーシャルのときなど画面サイズが変わって見づらく思われるとき(映像の比率が短い時間で変わるため)
 - 画面モードボタンでご希望の拡大画面をお選びください。
- ゲームソフトで画面が欠けるとき
 - 画面モードボタンで「フル」か「ノーマル」に。(C編:31ページ)
- 接続端子「S2映像」からS1またはS2映像を入力するとS1映像は「フル」、S2映像は「ワイド」になります。
 - ID-1検出をしたときも、画面サイズが切り替わります。(C編:24ページ)

画面の位置やサイズを調整する


まず、調整画面にする


- 

1 画面モード
押して、調整したい画面モードにする
 - 

2 メニュー
押して、「メニュー画面」を出し

↓



押して、「調整」メニューにし、
 - 






3 押して、「画面位置/サイズ」を選び、決定を押す
- 画面位置/サイズ

標準	戻る
サイズ	決定





例「ノーマル」画面の場合







画面の幅を切替える

- ノーマル** 画面のとき(サイズ「1」で、映像の両端にノイズ状のものが見えるときは、サイズ「2」にします。)
- 
 押すと、広がります。(サイズ「1」)
 押すと、狭まります。(サイズ「2」)
- (サイズ「1」)
 (サイズ「2」)
- ジャスト** 画面のとき(サイズ「1」で、映像の両端にノイズ状のものが見えるときは、サイズ「2」にします。)
- 
 押すと映像を左右縮小します。(サイズ「1」)
 押すと映像を左右に拡大します。(サイズ「2」)
- (サイズ「1」)
 (サイズ「2」)
- 標準に戻すとき→ 
 - 「メニュー」画面に戻るとき→ 
 - 調整が終わったら→ 

画面の縦サイズを変える

- ズーム1**・**ズーム2字** 画面または1080i(1035i)映像のとき
- 
 押すと、上下を縮小します。(最小1)
 押すと、拡大します。(最大15)
-
- 標準に戻すとき→ 
 - 「メニュー」画面に戻るとき→ 
 - 調整が終わったら→ 
- ※ 1080i(1035i)映像のときは、サイズ「1」、サイズ「2」の切換えになります。

画面外にはみ出た映像を見る

- ズーム1**・**ズーム2字**・**ジャスト** 画面、およびワイドクリアビジョン映像のとき
- 
 押すと、映像が上がります。
 押すと、映像が下がります。
-
- 上下の調整は、「ズーム1」、「ズーム2字」およびワイドクリアビジョン映像では、連続変化し、「ジャスト」では、上下各1段階です。
 - 標準に戻すとき→ 
 - 「メニュー」画面に戻るとき→ 
 - 調整が終わったら→ 

ご注意 ●このテレビは、各種の画面モード切換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。

●テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面モード切換え機能(ズーム等)を利用して、

画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

●ワイド映像でない従来(通常)の4:3の映像をズーム・ジャスト・フルモードを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

お知らせ

●本機背面の「モニター出力」端子からの信号は画面サイズや位置を調整しても変わりません。

最適な画質を選ぼう

「映像メニュー」

まず、「画質の調整」画面にする

- 12・13ページの手順で「調整」メニューにしたあと、次の操作をしてください



①「画質の調整」
を選び

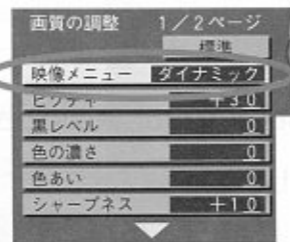
② 押す

最適な映像メニューを選ぶ

映像ソフトの明るさや、部屋の明るさに合った最適映像で楽しめます。
(ふだんは「オート」をおすすめします。)



「映像メニュー」
の項目を選び、
押して
選択する



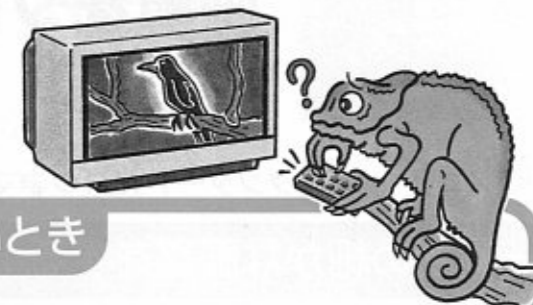
- 映像メニュー **オート** 周囲の明るさに応じた見やすい画面に。
- 映像メニュー **スタンダード** 標準の映像で見たとき
- 映像メニュー **シネマ** 映画のとき
- 映像メニュー **ダイナミック** 明暗がはっきりしたメリハリのある画面

■設定が終わったら→

お知らせ

- ゲームモード中 (P.19ページ) は映像メニュー **ゲーム** になります。
- 映像メニュー **オート** で画面の明るさが変化し、見づらいときは、他の映像メニューをご覧ください。

お好みの画質にしよう



「映像メニュー」の内容をお好みの画質に調整したいとき

- 1 34ページの手順で調整したい「映像メニュー」を選ぶ



例 映像メニュー
「スタンダード」のとき

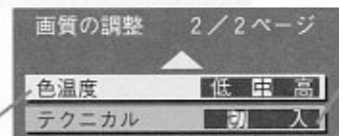
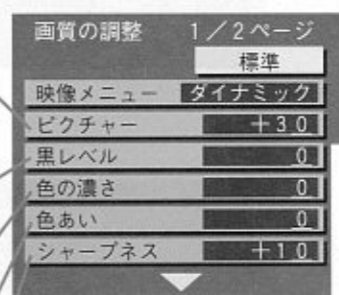
- 2 お好みに調整する



— 押して、項目を選択する
— 押して、調整する

項目

- ピクチャー** 部屋の明るさに合わせた濃淡、明るさに
- 黒レベル** 夜の画面や髪の毛などを見やすく
- 色の濃さ** やや、うすめの色に
- 色あい** 肌色をきれいに
- シャープネス** シャープな映像に
- 色温度** お好みの色調に (低：暖色、高：寒色)



- 「画質の調整」画面は2ページ構成です。



で項目を送ると自動的にページが変わります。

テクニカル

映像メニュー「スタンダード」、「シネマ」のとき、テクニカル「切」、「入」が切り替わります。

テクニカル **切** **入**

さらにきめ細かく、プロ級に調整した映像がご覧になれます。(P.36ページ)

テクニカル **切** **入**

今選んでいる映像メニューの画質になります。

- 設定を標準に戻したいときは



で **標準に戻す** を選び **決定** を押す。

- 設定が終わったら→



お知らせ

- 調整値は色差 (又はBSデジタル) の525i、525p、1080i、それ以外の映像ごとに、さらに映像メニュー (オート、スタンダード、シネマ、ダイナミック、[ゲーム]) ごとに記憶します。
- 「ピクチャー」を明るい映像で上げても変化しません。また暗い映像で下げても変化しません。

画質をプロ級に調整しよう

「テクニカル」

映像メニューが「スタンダード」か「シネマ」のときのみ調整ができます。

一層きめ細かな調整をする (テクニカル調整)

1 35ページの手順で「テクニカル」を「入」にする

2 押して、「テクニカル」画面にする

3 押して、各項目を選び
例 白文字補正を選んだとき

押して、調整する

- 通常画面に戻るとき →
- 「画質の調整」画面に戻るとき → で「VMゲイン」より上、または「色温度微調」より下を選ぶ
- 標準に戻るとき → で「標準に戻す」を選び「決定」を押す。



特殊なビデオソフトを再生するとき

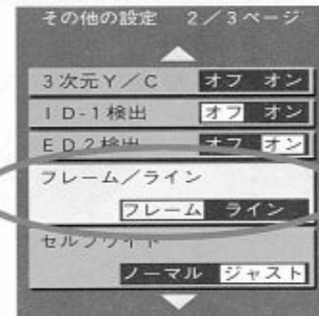
「フレーム/ライン」
ビデオディスクプレーヤーで立体ビデオディスクを再生するときや、家庭用ゲーム機のゲームソフトなど、特殊映像を再生するとき「ライン」にします。ふだんは「フレーム」で。

「フレーム/ライン」を切替える

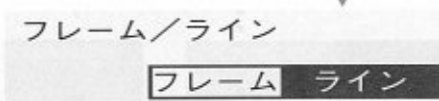
12・13ページの手順で「その他の設定」画面にしたあと、次の操作をしてください

1 押して、「フレーム/ライン」を選び

2 押して、「ライン」にする



● 「その他の設定」画面は3ページ構成です。
 で項目を送ると自動的にページが変わります。



■ 通常画面に戻るとき →

お知らせ

- 電波状態が悪く「フレーム」では画面が不安定(横ぶれなど)のときは「ライン」に切替えてください。
- 地上波放送、BSデジタル放送(またはD-VHS)、ビデオ1~3、色差ビデオ1~2、ゲームごとに記憶します。
- 1125i(1080i)映像、525p(480p)映像のときは切替わりません。

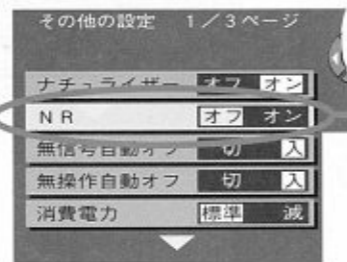
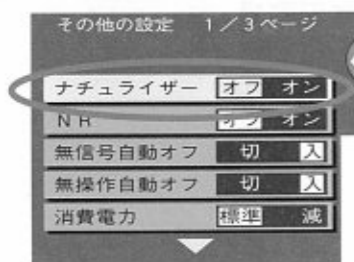
項目	内容	調整範囲
VMゲイン	縦線の輪郭の強調度を調整します。	0 (補正無し) ~ 15 (補正強)
黒伸長	中間より暗い部分の階調変化を調整します。	
白文字補正	白い文字などの白さを強調します。	
色温度調整	映像メニューごとに選択している色温度を、さらに微調整します。	-7 (色温度低) ~ 7 (色温度高) 〈赤っぽい〉 〈青っぽい〉

コントラストのある自然な映像で楽しむ「ナチュラルイザー」 映像のざらつき感を少なくする「NR」

まず、12、13ページの手順で「その他の設定」画面にする。

コントラストのある自然な映像で楽しむ「ナチュラルイザー」

映像のざらつき感を少なくする「NR」



ナチュラルイザー オフ オン

NR オフ オン

■設定が終わったら→

■設定が終わったら→

お知らせ

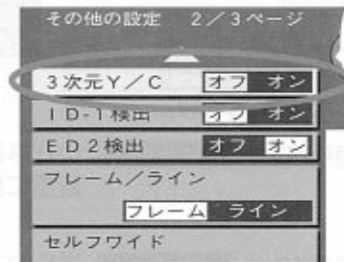
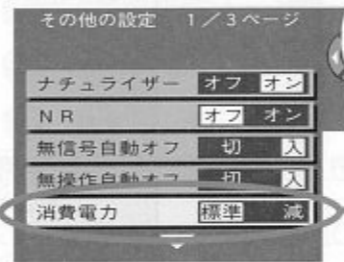
- 1画面以外でご覧のときやBSデジタル放送、D-VHS、コンポーネント(色差)ビデオ入力1~2の映像のときは、ナチュラルイザー「オフ」になります。
- NRの「オフ」・「オン」は地上波放送、BSデジタル放送(またはD-VHS)、ビデオ1~3、色差ビデオ1~2、ゲームごとに記憶します。

明るさをひかえめにして楽しむ「消費電力」 ビデオなどの映像が不自然に見えるとき「3次元Y/C分離」

まず、12、13ページの手順で「その他の設定」画面にする。

明るさをひかえめにして楽しむ「消費電力」

ビデオなどの映像が不自然に見えるとき「3次元Y/C分離」



消費電力 標準 減

3次元Y/C オフ オン

画面の明るいシーンのピーク輝度を落とすことで、自然な映像を再現しながら、消費電力を低減します。

■設定が終わったら→

■設定が終わったら→

お知らせ

- 映像メニューが「シネマ」のときや、ゲームモードのときは、消費電力「減」の効果が少なくなります。
- 「減」、「標準」は電源を「切」、「入」しても記憶します。
- 「3次元Y/C分離」はBSデジタル放送、D-VHS、色差ビデオ1~2、ワイドクリアビジョン映像のときは選ばません。

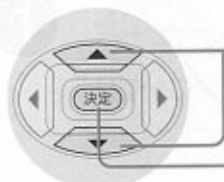
最適な音質を選ぼう

「音声メニュー」

まず、「音声の調整」画面にする

12・13ページの手順で「調整」メニューにしたあと、次の操作をしてください

音声の調整	
	標準
音声メニュー	ダイナミック
バス	+ 6
トレブル	+ 6
バランス	+ 0
サラウンド	オフ
イコライザー	オフ



- ①「音声の調整」を選び
- ②押す

最適な音声メニューを選ぶ



「音声メニュー」を選び、

押して選択する

- 音声メニュー **オート** 小さな音・大きな音を聞きやすい音量に自動調整
- 音声メニュー **スタンダード** 送られてくるそのままの音
- 音声メニュー **ダイナミック** メリハリ感を強調した音に
- 音声メニュー **快聴** 音の高域部分(4kHz付近)を強調

少し聞こえにくくなったと思われる高齢の方へのおすすめ機能です。

■設定が終わったら→

お知らせ

- ゲームモード中(19ページ)は 音声メニュー **ゲーム** になります。
- 音声メニュー(オート、快聴)は聞きとりにくい小さな音や、急な大きな音も聞きやすい音量に自動調整します。(音量ボタンで調整した数字はそのまま。)

「音声メニュー」の内容をお好みの音質に調整したいとき

- 1 40ページの手順で調整したい「音声メニュー」を選ぶ
- 2 お好みに調整する



押して、項目を選択する
押して、調整する

例) 音声メニュー「スタンダード」のとき

音声の調整	
	標準
音声メニュー	スタンダード
バス	+ 6
トレブル	+ 6
バランス	+ 0
サラウンド	オフ
イコライザー	オフ

- バス** 低音を調整するとき
- トレブル** 高音を調整するとき
- バランス** 左右の音量を調整するとき
- イコライザー** スピーカーの性能を最大限にします(ふだんは「オン」で)

- サラウンド** コンサートホールの臨場感を楽しむとき
「サラウンド」を「オン」にするとステレオ音声やソフト再生のときサラウンド **ワイド** モノラル音声のときサラウンド **モノラル** になります

■項目を単独で調整したいときは

を押して、項目を選び で調整する

■設定を標準に戻したいときは

で **標準に戻す** を選び **決定** を押す

■設定が終わったら→

お知らせ

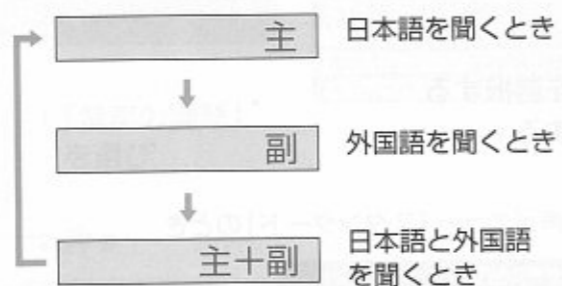
- 「バス」「トレブル」「バランス」「サラウンド」は、音声メニューごとに記憶します。
- 2ヵ国語(二重)放送で「主+副」音声のときはサラウンドは「オフ」になります。
- 「イコライザー」はヘッドホンを接続しているときは「オフ」になります。

音声多重放送を聞く

2ヶ国語(二重)放送の副音声を聞く

音声切換

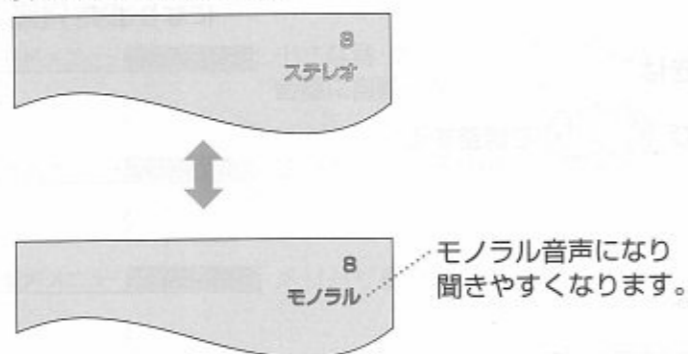
押すごとに選べます



ステレオ放送で雑音があるとき

音声切換

押すごとに切り換わる



BSデジタル放送の音声信号を切替えるとき

番組により、音声の信号を切替えて楽しむことができます。
切替え可能な信号の内容は番組により異なります。
また切替えた信号が有料な場合もあります。

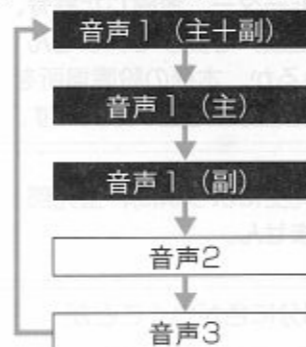
音声切換

押す



- 番組が複数の音声で放送されているとき、切替えができます。
- 切替えた音声が多重音声の場合は下図のように切り替わります。

(例) 音声1が多重音声の場合



二重音声について

二重音声には2種類あります。

- 二ヶ国語放送
主音声(日本語)と副音声(外国語)を選んで聞ける情報(主音声で外国語、副音声で日本語が送信される場合もあります。)
- 音声多重放送
主音声とは別の音声(副音声)を選んで聞ける情報

お知らせ

- ステレオ放送は地上放送の場合のみ、モノラルに切替えができます。
- 2ヶ国語(二重)放送のとき
- 地上波(VHF/UHF)放送のとき電源を「切」「入」したときは「主」に戻ります。
- 放送によっては「主」で原語を、「副」で日本語を送る場合があります。
- 外部入力時は、接続機器側で切替えてください。

お知らせ


- 有料番組を購入するときは、画面の表示に従って操作してください。

テレビ放送のとき (VHF・UHF)

症状	原因と処置	ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントから抜けていませんか? ●リモコンで電源が入らない場合は、テレビ本体の電源が「入」になっていますか? 	18
リモコンが操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ●電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか? ●リモコン受光部に蛍光灯の光など強い照明が当たっていませんか? 	C編 4
映像が揺れる 映像が不鮮明	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナやアンテナ線が劣化または破損、断線をしていませんか? ●アンテナ線は正しく接続されていますか? 	C編 44
色模様が出たり、 色が消える	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオを使用し、テレビ側で選局するときビデオ本体の「テレビ/ビデオ」切替は、「テレビ」側になっていますか? 	—
映像が2重3重に見える	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナの方向がずれていませんか? ●山やビルからの反射電波を受けていませんか? ●GR (ゴーストリダクション) は「オン」になっていますか? 	C編 17
画面にはん点が出たり、 画面が揺れる 画面の四隅に 色がつく (色ムラ)	<ul style="list-style-type: none"> ●地磁気や外部 (自動車や電車、高圧線、ネオン、モーター、着磁した鉄骨、鉄製の雨戸など) からの影響 (妨害電波や誘導電磁波) を受けていませんか? 一度電源を切り、約20分後に電源を入れてみるか、本機の設置場所を変えてみてください。それでも効果がない場合は別途防磁処置が必要です。 	—
電源を入れたとき、 暗い部屋では画面周辺 が一瞬光って見える	<ul style="list-style-type: none"> ●ブラウン管の構造上、電源を入れたときに高電圧発生により瞬間、蛍光部の一部が動作するため性能その他に影響はありません。 	—
部分的に色あいが 悪い、色がつく	<ul style="list-style-type: none"> ●白い服などの明るい映像が静止していると、その部分に色がつくことがあります。 	—
画面の両端や柱、障子の 棧が曲がって見える	<ul style="list-style-type: none"> ●受信するチャンネルや、画面の明るさの変化によって曲がって見えることがあります。 	—
ビデオで選局すると 一瞬、黒い帯が出る	<ul style="list-style-type: none"> ●チャンネルを切替えたときに発生するノイズによるものです。 	—

症状	原因と処置	ページ
セルフワイドのとき 画面のサイズが時々 変わる	<ul style="list-style-type: none"> ●ソフトによっては自動的に「ズーム」になる場合でも最初暗いシーンのときは、しばらく「ズーム」にならない場合があります。 ●4:3映像でも上下が暗いシーンでは「ズーム」になる場合があります。 	30
映像が少し傾く	<ul style="list-style-type: none"> ●地磁気の影響が考えられます。(設置方向が南向きでは右下がり、北向きは左下がり) →地磁気補正をしてみてください。 	C編 21
チャンネル番号が画面 から消えない	<ul style="list-style-type: none"> ●画面表示ボタンを押してみてください。ビデオ入力に切替えたときは、ビデオの映像がないと消えません。 	26
テレビから時々、 「ビシッ」と音がする	<ul style="list-style-type: none"> ●画面や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響ありません。 	—
画面の上下に映像の ない部分ができる	<ul style="list-style-type: none"> ●16:9より横長の映像ソフト (シネマビジョンサイズのソフトなど) のときは、画面の下や上下に映像のない部分ができます。 	31
ズーム、ジャストに したとき画面の上 または下が欠ける	<ul style="list-style-type: none"> ●画面位置調整をすらしただけになっていませんか? →画面位置の調整をしてみてください。 	32

BSデジタル放送のとき

症状	原因と処置	ページ
電源をオン(受信)にしたときや選局操作したときに「アンテナとの接続に不具合があります。接続をもう一度確認してください。」と表示が出る	<ul style="list-style-type: none"> ●BS-IF入力端子に接続されているアンテナのケーブル線内で芯線と編組線が接触(タッチ)していませんか。 →電源をオフにして、異常箇所を調べ原因を取り除いてください。処置後は電源をオン(受信)にしたときに「アンテナとの接続に不具合があります。…」と表示されないことを確認してください。 ●「BSアンテナ設定」で「BSアンテナ電源」の設定が間違っていないですか。 →電源をオフしてからBS-IF入力端子に接続されているケーブルを抜き、電源をオン(受信)にして「BSアンテナ電源」の設定を確認してください。 	C編 38
映像も音も出ない 	<ul style="list-style-type: none"> ●「BSアンテナ設定」は正しく設定や調整ができていますか。 →「BSアンテナ設定」を正しく設定や調整してください。 	C編 38
映像や音が出なくなったり または時々出なくなる 映像が静止したり または時々静止する	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか、またはアンテナ線の劣化などが考えられます。 →「BSアンテナ設定」で、アンテナ入力レベルが最大になる角度にアンテナを調整してください。 ●着雪(アンテナ)、雨、雷雲などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。 →衛星放送は、雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積ると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、ひどい場合には、全く受信できなくなることがあります。 天候の回復を待ってください。 	C編 38 —
有料放送の視聴ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●B-CASカードは正しく挿入されていますか。 →B-CASカードを正しく挿入してください。 ●有料放送を視聴するための手続きはされていますか。 →視聴契約手続きをしてください。 ●電話回線の接続や設定は正しいですか。 →電話回線を接続し、「電話設定」を正しく行ってください。 	C編 46 — C編 30

症状	原因と処置	ページ
予約が実行されない	<ul style="list-style-type: none"> ●「視聴」で予約して、電源がオフ(または機能待機)になっていませんか。 →「視聴」で予約した場合、電源をオフ(または機能待機)にしていると予約が実行されません。 	A編 21
画面に「購入できませんでした。」などが表示され購入または予約ができない状態が続く	<ul style="list-style-type: none"> ●電話回線が正しく接続されていますか。 →電話回線を正しく接続してください。 ●「電話設定」が間違っていないですか。 →「電話設定」を正しく設定してください。 ●B-CASカードが正しく挿入されていますか。 →B-CASカードを正しく挿入してください。 	C編 47 C編 30 C編 46
チャンネル番号などが画面から消えない	<ul style="list-style-type: none"> ●画面表示ボタンを押して、画面表示が出る状態に設定していませんか。 →チャンネル番号などを消しておきたいときは、もう一度画面表示ボタンを押してください。 	26、 A編 12
字幕や文字スーパーが出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●メニュー画面などが表示されていませんか。 →メニューや操作説明画面などを消してください。 ●BSデジタル設定の「字幕」や「文字スーパー」が「オフ」に設定されていませんか。 →BSデジタル設定の「字幕」や「文字スーパー」を「オン」に設定してください。 ●字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか。 →字幕の場合、字幕のアイコン(シンボルマーク)が表示された番組を視聴してください。 	A編 37
本機から通信を行うと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る	<ul style="list-style-type: none"> ●一部の電話機やファクシミリで付属のモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。 →付属のモジュラー分配器を使用せずに、市販されている自動転換器(パソコン対応用)を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。 	—

BSデジタル放送のとき(つづき)

症状	原因と処置	ページ
電話機にノイズ(雑音)が入る	<ul style="list-style-type: none"> ●一部の電話機やファクシミリで付属のモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。 →市販されている自動転換器または、電話回線用ノイズフィルター(雑音防止器)を使用すると改善される場合があります。詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。 	—
ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	<ul style="list-style-type: none"> ●ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。 	—
特定のチャンネルの映像や音が出なくなったり、または時々出なくなる	<ul style="list-style-type: none"> ●本機とBSアンテナを接続するとき、BSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していないか。 →BSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや機器でアンテナを接続している場合、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受け、映像や音が出なくなる場合があります。アンテナを接続する場合は、シールド性のよいBSデジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。 	—
急に画質や音質が少し悪くなった	<ul style="list-style-type: none"> ●降雨対応放送になっていませんか。 →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、本機では電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。降雨対応放送では、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。 	—

接続機器の操作をするとき

症状	原因と処置	ページ
Irsystemで録画機器の録画予約ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオコントローラーは正しく設置できていますか。 →ビデオコントローラーを正しく接続、設置してください。 ●「Irsystem」の設定は正しいですか。 →「Irsystem」の設定を正しく行ってください。 ●録画機器は正しく準備できていますか。 →録画機器の電源や、ビデオカセットなどは必ず確認してください。 	C編 48
		C編 52
i.LINK対応機器が操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機に対応していないi.LINK対応機器を接続していませんか。 →本機で制御できるi.LINK対応機器は当社製D-VHSデジタルハイビジョンビデオデッキ2台までです。 ●i.LINK接続設定で「使用する」に設定されていますか。 →「使用しない」に設定していると操作できません。「使用する」に設定してください。 	—
		A編 46
テレビを使用していないのに、内部から「カチッ」と音がする	<ul style="list-style-type: none"> ●BSデジタル放送の番組情報などを送受信するため、本機内部の回路が自動的に動作する音です。 ●BSデジタル放送を予約録画した時など、予約に従い本機内部の回路が自動的に動作する音です。 	—
		—
リモコンで電源を「切」にしても、機能待機ランプ「橙」が点灯したまま	<ul style="list-style-type: none"> ●i.LINK待機の設定が「する」になっている。 ●BSロックが「オン」になっている。 ●有料番組の契約・購入状況や双方向サービスの情報を取得するため、自動的に機能待機状態(橙ランプが点灯)になる場合があります。 	C編 57 24
		—

本機を使用していないとき

アイコン一覧

本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって表示画面の情報をお知らせします。
主なアイコンとその内容は次のとおりです。

	アイコン	内 容	アイコン	内 容
番組情報関連		BSデジタルテレビ放送（映像+音声）の番組		BSラジオ放送の番組
		BSデータ放送の番組		臨時ニュースなど予定外の番組
		BSデジタルテレビ放送（映像+音声）番組で番組に合わせたBSデータ放送を行っているテレビ連動データ放送の番組		BSデジタルテレビ放送（映像+音声）番組で番組とは別のBSデータ放送を行っている番組
		BSラジオ放送番組で番組に合わせたBSデータ放送を行っているラジオ連動データ放送の番組		BSラジオ放送番組で番組とは別のBSデータ放送を行っている番組
		映像、音声、データのいずれかを信号切り換えができる番組		番組の映像信号情報（上：アスペクト比、下：信号方式）
		二重音声信号があり「主」を選択している場合		二重音声信号があり「副」を選択している場合
		モノラル音声の番組		二重音声信号があり「主+副」を選択している場合
		ステレオ音声の番組		有料の番組（ペイ・パー・ビュー番組）
		デジタルコピーガードがかかっている番組		無料の番組
		アナログコピーガードがかかっている番組		マルチビュー放送の番組
		1回のみデジタルコピーが可能な番組		番組の中に字幕（日本語/英語）の情報がふくまれている番組
		視聴年齢制限がある番組（表示される年齢は4~20才まであります）		「視聴」で予約している番組
		予約している番組		「録画」で予約している番組
		本機が電話回線を使用中の場合		

メール・視聴制限

	アイコン	内 容	アイコン	内 容
メール		お客様がまだ読まれていないメール（未読メール）		お客様が既に読まれたメール（既読メール）
視聴制限		視聴可能年齢の設定より高い年齢制限の番組を選んだ場合に「暗証番号入力」画面へ設定している視聴可能年齢が表示されます。		一番組限度額の設定より高い金額の番組を選んだ場合に「暗証番号入力」画面へ表示されます。
予約一覧関連		「視聴」で予約した番組		「録画」で予約した番組
		予約時間が重なっており優先順位が低い番組		予約した番組が放送開始時間を変更して予約が実行された番組
		予約が全く実行されず予約終了時刻が過ぎた番組またはコピーガードのため、予約が実行できなかった番組		予約録画で、一旦中断後に実行された番組
		予約の実行が途中で中止された番組		有料の番組（ペイ・パー・ビューの番組）
電話記録		i.LINK接続したD-VHSビデオデッキから本機を通じて電話発信を行った		

● 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

メッセージ表示一覧

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。主なメッセージとその内容は下記のとおりです。

メッセージ	内 容
選局中です。しばらくお待ちください。	選局動作中です。
購入できませんでした。	購入記録が送信できず、B-CASカードの記録容量を超えている場合などに表示されます。電話回線の接続や設定を確認してください。(C編：30ページ)
受信できません。	受信するための送信データが異常の場合に表示されます。
視聴できません。	有料番組を購入しなかった。再度、購入操作を行ってください。
現在、このチャンネルは放送を休止しています。	放送を休止しているチャンネルを選んでいきます。
降雨対応放送に切り替わりました。	雨の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切替えました。画質、音質が少し悪くなります。また、番組表示もできない場合もあります。
緊急警告放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。	緊急警告放送が始まっています。必ず確認するようにしてください。
B-CASカードを正しく挿入してください。	B-CASカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。本機専用のB-CASカードを正しく挿入してください。(C編：46ページ)
アンテナとの接続に不具合があります。接続をもう一度確認してください。	アンテナ電源の異常です。アンテナのケーブル線内で芯線と編組線が接触(タッチ)していないか、BSアンテナ設定でBSアンテナ電源の設定が間違っていないか確認してください。(C編：38ページ)
受信できません。アンテナの設定や調整を確認してください。	アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。

お手入れ／上手な使いかた

お手入れについて

キャビネットやブラウン管表面の清掃は柔らかい布で指紋など油脂類の汚れ、ひどい汚れは水でうすめた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



洗剤を直接テレビにかけない

水滴がブラウン管面を伝わって内部に入ると、故障の原因になります。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

キャビネットの変質や塗装がはがれます。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させない。(キャビネットの変質の原因)



お知らせ

- 化学そうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

ブラウン管の表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つきまますのでご注意ください。

- ブラウン管面に触れると弱い静電気を感ずますが、人体に影響はありません。



設置されるとき

直射日光を避け、熱器具から離す

キャビネットの変形や故障の原因になります。



壁などから10cm以上はあける

空気の対流で壁などにほこりの付着を少なくします。

見る距離と部屋の明るさは画面の縦の長さの3倍程度、また新聞の読める明るさで。

機器相互のかんしょうに注意。重さによる変形や、電磁波妨害などによる映像の乱れ、雑音などを避ける。

接続は電源を“切”にしてから各機器の説明書に従って、接続してください。

(オーディオ機器、ビデオ機器、ゲーム機器、ビデオディスク機器、オーディオアンプなど)

テレビ台のご使用は

当社製推奨テレビ台のご使用を。他の台をご使用の場合は本機底面の寸法より小さいと不安定となり、またキャビネットが歪んで故障の原因になります。

アンテナは定期的な点検を。風雨にさらされたり、ばい煙の多い所、潮風にさらされる所は早く傷みます。映りが悪くなった場合は販売店にご相談を。

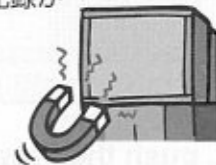


良好な画面で見るためにアンテナ線は、同軸ケーブルのご使用を。

ご使用になるとき

磁気を近づけない

色の乱れや画面の揺れ、または、調整した記録が消える。



(電気時計、スピーカー、磁石を使ったおもちゃ、磁気応用健康器具など)

外部スピーカーは防磁型を。色ムラなど画面への影響を避けるため。

適度の音量で隣り近所への配慮を



特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなど生活環境を守りましょう。

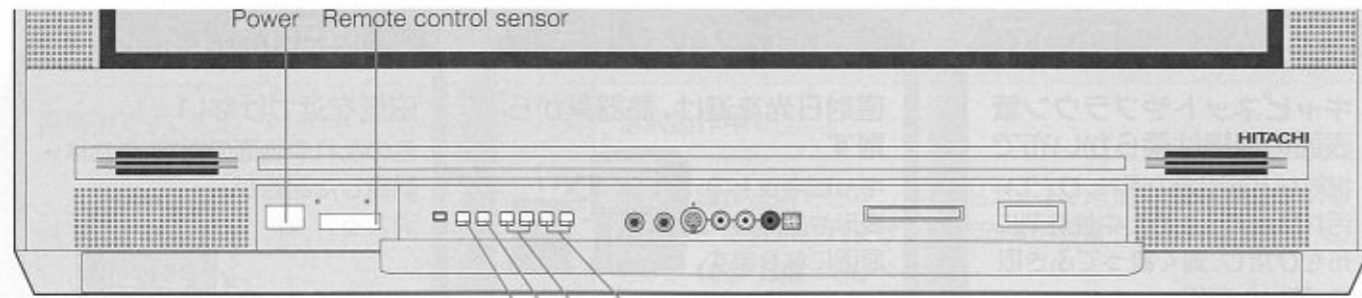
移動や向きを変えるときは電源を切る

- そのまま動かすと、画面に色ムラが発生します。電源は約20分後に入れる。
- テレビ台に乗せたまま動かすと床に傷がつかます。必ず本体をおろしてから行う。

液もれが生じたとき(リモコンの電池)

電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れる。もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

How to Use Basic Operations



First, push the Power to turn on.

Operate your Remote Control pointed to the Remote control sensor.
(Within about 7meters in front of the TV set.)

If the remote control is not usable, operate the television with the controls on the TV set.

- TV & CATV & BS Channel selectors
- Sound Volume controllers
- Input signal selector
- Mode of Picture conversion



1 Turning ON/OFF

2 Select a channel

3 Control the sound volume



You can watch different programs separately on the right and left screens.

- To change the channel in the left side of the screen:
→ Press the channel select buttons.
- To change the channel in the right side of the screen:
→ Press the button.
"操作中" will appear on the screen to indicate that the right side of the screen is selected.
Press the channel select buttons while this display is appearing.
- To return operation to the previous screen.
→ Press the button.



You can select an aspect ratio yourself according to your preferences.

Mode of Picture conversion (画面モード)

Self Wide (セルフワイド)

The on-screen indication "セルフワイド" is displayed. Automatically Set to the wide screen. When the program is in wide Clear Vision, the screen changes to the zoomed size to let you enjoy higher definition pictures.

Just (ジャスト)
Horizontally stretched a little at the center and gradually getting wider at both extremities.



Normal (ノーマル)



Full (フル)
Horizontally widened with the mid-screen in the center.

Zoom2 (ズーム2字)
Subtitles will be displayed in case of pictures with subtitles.

Zoom1 (ズーム1)
The entire picture area is enlarged with the mid-screen in the center.

英数字 ページ

- 2画面8、28
- 3次元Y/C分離39
- 525i(480i)、525p(480p)、1125i(1080i) ...8
- 「525p色マトリックス」設定C編:23
- B-CASカードテストC編:41
- B-CASカードの挿入C編:46
- BSアンテナ設定C編:38
- 「BS初期設定」画面C編:29
- BSチャンネル設定C編:36
- 「BSチャンネル設定」画面C編:29
- BSデータ放送A編:38
- 「BSデジタル設定」画面C編:28
- BSデジタル放送9、22
- BSロック24
- D3映像8、17
- D-VHSビデオデッキの接続C編:50
- 「ED2検出」設定C編:25
- GRC編:17
- i.LINKA編:42
- 「i.LINK待機」の設定C編:57
- ID-1C編:24
- 「ID-1検出」設定C編:24
- IEEE1394A編:42
- Irシステム9、C編:48、52
- 「Irシステム設定」画面C編:52
- 「Irシステム」の設定C編:53
- Irシステムの設定C編:52
- NR38

あ行 ページ

- アイコンA編:4
- アッテネーターC編:27
- 暗証番号登録A編:33
- 暗証番号取消しA編:35
- 暗証番号入力A編:31
- 暗証番号変更A編:35
- アンテナ設定C編:27
- アンテナ線の接続C編:44
- アンテナ入力レベルC編:39
- 一番組限度額A編:34
- イヤホン15
- インフォメーションA編:7
- 裏番組A編:15
- 映像切換A編:39
- 映像メニュー34

- オートサーチC編:8
- オート設定C編:12
- オフタイマー26
- 音声切換42、A編:39
- 音声メニュー40

か行 ページ

- カーソルA編:5
- 回線設定C編:31
- 「外部入力」の設定C編:54
- 画面位置/サイズ32
- 画面表示26、A編:12
- 画面モード28、31
- 機器接続設定A編:46
- 機器操作A編:43
- 契約A編:9
- ゲームモード19
- 県域設定C編:35
- 購入記録A編:19
- ゴーストC編:17
- コンポーネント(色差)ビデオ入力16、17

さ行 ページ

- 左右入換28
- 市外局番オート設定C編:10
- 市外局番チャンネル一覧表C編:18
- 時間変更追従A編:25、29
- 視聴可能年齢A編:34
- 視聴購入A編:18
- 視聴制限A編:9、31、32~34
- 視聴制限設定A編:33
- 視聴制限の解除A編:31
- 字幕A編:37
- 字幕言語A編:37
- ジャンル検索A編:16
- 受信設定C編:40
- 消音26
- 消費電力39
- 「初期設定メニュー」C編:6
- 信号設定A編:24
- 静止28
- 設定項目リセットC編:40
- セルフワイド30、C編:20
- 選局対象A編:36
- 「その他の設定」画面C編:6

た行 ページ

- タイマー予約A編:24、27
- ダウンロードA編:41
- 地域設定画面C編:34
- 地域設定取消しC編:35
- 地磁気補正C編:21
- チャンネル一覧A編:14
- チャンネル設定C編:8
- 「チャンネル設定」メニューC編:7
- テクニカル調整36
- デジタル音声出力の設定C編:56
- デジタル音声端子付きオーディオ機器C編:51
- テスト(Irシステム)C編:55
- 転倒防止C編:5
- 電話回線の接続C編:47
- 「電話設定」画面C編:30
- 電話テストC編:33
- 電話発信記録A編:40
- トーン検出の設定C編:31
- 飛びこし選局C編:15

な行 ページ

- 内線設定C編:32
- ナチュラルイザー38

は行 ページ

- 番組購入A編:18
- 番組内容A編:13
- 番組ナビA編:6
- 番組表A編:10、11
- 番組予約A編:20
- 微調整C編:16
- 「ビデオ入力表示書換」設定C編:26
- ビデオコントローラーの接続C編:48
- 表示書換C編:15
- プリセット選局A編:8
- フレーム/ライン37
- ペイ・パー・ビューA編:9、18
- ヘッドホン15

ま行 ページ

- マニュアル設定C編:14
- マルチビュー録画A編:25、29

- 右イヤホン音量15
- 右画面操作29
- 無操作自動オフ27
- 「メーカー」の設定C編:53
- メールA編:41
- メニュー画面12
- 文字スーパーA編:37
- 文字スーパー言語A編:37
- 「モニター出力」設定C編:22

や行 ページ

- 郵便番号C編:35
- 有料番組A編:9、18
- 予備-1~予備-23C編:9、14
- 予約A編:9、20
- 予約一覧A編:30
- 予約修正A編:9、22
- 予約取消しA編:22
- 予約方式A編:20

ら行 ページ

- リモコン10
- 「リモコン種別」の設定C編:53
- 連動予約A編:24、27
- 録画機器A編:24
- 録画機器の接続C編:49
- 録画購入A編:18
- 録画モードA編:25

わ行 ページ

- ワイドクリアビジョン30、C編:25

保証とアフターサービス (必ずご覧ください)

修理を依頼される時は (出張修理)

44~49ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書 (別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。
保証期間…お買い上げ日から1年です。
ただしブラウン管については2年です。

補修用 性能部品の 最低保有期間

テレビの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や 修理に関する ご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点はお買い上げの販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。(P59ページ)

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	BSデジタルハイビジョンテレビ
形名	(テレビ本体) W32-DH2000 W36-DH2000 (リモコン) C-RK1
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども 合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼される時に便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話 ()	年 月 日

長年ご使用のテレビの点検をぜひ!.....

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

愛情点検



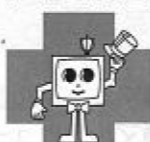
このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

ご使用中止

故障や事故防止のため、
スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした
心づかいで
テレビの安全



お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに 関するご相談は

0120-3121-68

商品情報やお取り扱いに ついてのご相談は

0120-3121-11

*フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区の**お客様相談センター**へ

担当地域	電話番号	所在地
北海道地区	011-833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	022-232-5088	仙台市宮城野区扇町1-1-45
関東・甲信越地区	03-3834-8588	台東区東上野2-7-5 (日立家電上野ビル)
中部地区	052-795-5088	名古屋市守山区川宮町55 (日立家電守山ビル)
関西地区	078-431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	082-231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	0877-47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	092-281-5088	福岡市博多区店屋町7-18 (博多渡辺ビル)

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

お知らせ

廃棄時にご注意ください。

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式)を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。